

会 告 目 次

坂井記念特別賞候補者の募集について	色紙
研究発表会開催通知	2
第 3 回オーディオビジュアル複合情報処理研究会	2
第 4 回音楽情報科学研究会	3
第 66 回グラフィクスと CAD 研究会	3
第 95 回計算機アーキテクチャ研究会	} 合同研究会
第 69 回設計自動化研究会	
平成 5 年度研究賞の表彰	6
「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム '93 及び併設講習会」開催について	12
「コンピュータと教育」シンポジウム開催について	15
「第 35 回プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ	17
「1994 年情報学シンポジウム」開催について	20
「ソフトウェアプロセス・シンポジウム」論文募集	23
IISF 国際シンポジウム「コンピュータと人間の共生」開催について	24
13th World Computer Congress IFIP Congress '94	26
第 47 回 FID 国際会議 論文募集	28
IEEE COMPUTER SOCIETY PRESS	29
日本学術会議第 16 期会員の候補者推薦について	32
日本学術会議だより	33
学術情報センター情報検索サービスの範囲拡大について	35
書評・文献紹介・ニュース募集のお知らせ	36
会員種別の改定とそれにもなう定款改定について	37
平成 5 年度会費, 論文誌購読費の納入について	37
会費・購読費の預金口座自動振替をぜひご利用ください	38
海外からの送金方法について	40
本会協賛等の行事案内	41
支部だより	42
会 議 案 内	44
教 官 募 集	45
雑 報	47
編 集 室	47
会員の方へお願い	48

研究発表会開催通知

(平成5年11月15日～12月31日)

研究会名	日時		会場	備考
自然言語処理	11月19日(金)	9:40～17:15	電総研	前号参照
記号処理	11月19日(金)	10:20～17:00	長野大	同上
人工知能	11月24日(水)	10:30～16:10	工学院大	同上
アルゴリズム	11月25日(木)	9:00～17:30	大阪電通大	同上
人文科学とコンピュータ	11月26日(金)	10:00～17:10	岡山大	同上
コンピュータと教育	11月26日(金)	13:00～17:20	工学院大	同上
ソフトウェア工学	11月30日(火)	9:30～17:00	東工大	同上
オーディオビジュアル 複合情報処理	12月9日(木)	13:00～18:00	早大	下記参照
音楽情報科学	12月10日(金)	13:30～17:00	工学院大	同上
グラフィクスとCAD	12月16日(木)	9:00～17:00	九大	同上
	12月17日(金)	9:00～17:00		
計算機アーキテクチャ } 合同 設計自動化 }	12月16日(木)	10:00～17:00	豊橋サイエンスコア	同上
	12月17日(金)	10:00～17:00		

◆第3回 オーディオビジュアル複合情報処理研究会

(発表件数:7件)

(主査:富永英義, 幹事:二宮佑一, 村上仁己, 安田 浩)

日時 平成5年12月9日(木) 13:00～18:00

会場 早稲田大学 学術情報センター 国際会議場

[東京都新宿区西早稲田1-20-14, JR:高田馬場下車, バス:早稲田大学正門行, 地下鉄(東西線):早稲田下車, 徒歩10分. Tel.(03)3203-4141]

議題 **What will happen by MPEG4** (パネル・ディスカッション(英語))

- (1) Standardization Activity of MPEG 4 for Mobile Applications in ISO/IEC 安田 浩 (NTT)
- (2) Object-Based Analysis-Synthesis Coding for Mobile Multimedia Communication
P. Gerken (Institut für Theoretische Nachrichtentechnik und Informations Verarbeitung, Germany)
- (3) Model-Based Image Coding for Future Multimedia Communications 相澤清晴 (東大)
- (4) European R&D Activities in Mobile Multimedia Communications and Expectations for Future Services
R. Schafer (Heinrich Hertz Institute, Germany)
- (5) Future Prospects of Low-Bit-Rate Audio Visual Application C. Reader
- (6) Next Generation Video Coding M. Kunt (Swiss Federal Institute of Technology, Switzerland)
- (7) Expectation of Future Services in Mobile Multimedia Communications
T. Huang (University of Illinois, USA)

* 今回の研究会は国際ワークショップ Workshop on Mobile Multimedia Communications (What will happen by MPEG4 パネル・ディスカッション) との共催で開催されます。

◆第4回 音楽情報科学研究会

(発表件数: 3件)

(主査: 平田圭二, 幹事: 嶋津武仁, 志村 哲, 鈴木 孝)

日 時 平成5年12月10日(金) 13:30~17:00

会 場 工学院大学 28階 第4会議室

[東京都新宿区西新宿1-24-2, JR: 新宿(西口)下車, 徒歩約10分. Tel.(03)3342-1211]

議 題

- (1) MIDI 制御のための分散協調システム —遠隔地間の合奏を目指して— 後藤真孝(早大), 橋本裕司(慶大)
 [概要] ネットワーク上の複数のユーザが電子楽器を MIDI 制御するための分散協調システムについて。
- (2) 専門分野の研究成果を発表する手段としてのマルチメディアソフト活用指導
 —専門学校東京コンセルヴァトアール尚美における教育事例— 古屋国忠(尚美学園)
 [概要] 道具としてのパソコンを自身の専門分野で自在に活用するためのマルチメディア表現学習事例の紹介。
- (3) 自由討論: 音楽情報処理の研究目標 司会: 鈴木 孝(東京高専)

◆第66回 グラフィクスとCAD研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 西原清一, 幹事: 大野義夫, 福井一夫, 間瀬健二)

日 時 平成5年12月16日(木) 9:00~17:00

17日(金) 9:00~17:00

会 場 九州大学 大型計算機センター 多目的講習室

[福岡市東区箱崎6-10-1, 地下鉄: 箱崎九大前下車. Tel.(092)641-1101]

議 題

- (1) 階層的形状近似を用いたラジオシティ法 田中久登, 乃万 司(九工大)
 [概要] 階層的な形状近似によるラジオシティ法の高速度手法を提案する。
- (2) 図形連立式による図形処理問題の定式化手法 田中雅次, 岩間憲三(京都高度技術研究所)
 [概要] 人の図形処理方法における公理や定理をもとに, 対象となる図形間の関係を連立式として定式化する。
- (3) パーチャルリアリティにおける物体選択方法について 川勝大輔, 中山敦司, 小堀研一, 久津輪敏郎(大阪工大)
 [概要] 仮想世界で自然な操作で三次元形状を選択するための方式について実験した結果を報告する。
- (4) 画像処理技術を利用した反射, 透過映像の高速生成 尊田嘉之, 樋口作夫, 三箇山正樹(旭硝子), 大柿 稔(旭硝子アニメテック)
 [概要] 物体の分光性能や反射透過性状を考慮した, 反射透過映像の高速生成手法とアニメーションへの展開。
- (5) 実測値に基づくみかんの色の経時変化の表現法 東海彰吾, 安田孝美, 横井茂樹, 鳥脇純一郎(名大), 亀岡孝治(三重大)
 [概要] 生長に伴うみかんの色の変化を測定し, その実測値を用いたCGによる経時変化の表現法を述べる。

* 今回の研究会は電子情報通信学会(PRU研究会)との共催で開催されます。最終的なプログラムは電子情報通信学会誌 11月号 をご覧ください。

◆第95回 計算機アーキテクチャ研究会 } 合同研究会

◆第69回 設計自動化研究会

(発表件数: 16件)

ARC (主査: 富田眞治, 幹事: 中島 浩, 村上和彰, 矢野陽一)

DA (主査: 上田和宏, 幹事: 小川 泰, 河村匡彦, 安浦寛人)

日 時 平成5年12月16日(木) 10:00~17:00

17日(金) 10:00~17:00

会 場 豊橋サイエンスコア

[豊橋市西幸町字浜池 333-9, JR: 豊橋(東口)下車, バス(3番乗場): 技科大行, 野依行, 福祉村行のいずれかにて浜道下車, 徒歩10分. または天伯団地行, ノンホイパーク行(1時間に1便)にてサイエンスコア下車. Tel.(0532)44-1111(伊藤)]

議 題

●設計自動化に関する一般発表

- (1) Partial collapsing を用いた遅延最小化の一手法 佐藤光一, 河原林政道, 江村秀之, 前田直孝(NEC)
 [概要] マッピング前もしくは後に, 部分的に組合せ回路をコラプスして最大遅延値を改善する手法の提案。
- (2) Hill Climb を用いたパーティショニング最適化手法 澁谷利行, 河村 薫(富士通研)

[概要] Min-Cut において、大域的に Hill Climb を行うことにより、最適解を求める手法。

(3) ニューラルネットワークに基づいた並列自動配線アルゴリズム

鈴木響太郎, 花田 彰, 天野英晴, 武藤佳恭 (慶大)

[概要] ネットの折れ曲がり回数を制限することにより、配線成分の各線分を単位として高い並列性を獲得。

●特集：アーキテクチャ設計支援

(4) 代数的仕様からのマイクロプログラム自動合成

木下貴史 (豊橋技科大), 直井 徹 (岐阜大), 今井正治 (豊橋技科大)

[概要] 意味単一化子を利用したマイクロプログラム合成手続きを提案し、その利用と評価について述べる。

(5) アーキテクチャ評価用コンパイラの自動生成

富山宏之, 赤星博輝, 安浦寛人 (九大)

[概要] 計算機アーキテクチャの評価に必要なコンパイラを自動生成するため、木変換を導入し、評価を行う。

(6) ASIP 向きハードウェア/ソフトウェア・コードデザインシステム PEAS-I におけるハードウェア生成手法

中田武治 (豊橋技科大), 佐藤 淳 (鶴岡高専), 塩見彰睦, 今井正治 (豊橋技科大), 引地信之 (SRA)

[概要] 各命令の実現方法を入力して CPU コアのデザインを HDL の形式で生成する手法について述べる。

(7) ASIP 向きハードウェア/ソフトウェア・コードデザインシステム PEAS-I におけるデータパス部の最適化手法

本間啓道, 塩見彰睦, 今井正治 (豊橋技科大), 引地信之 (SRA)

[概要] 応用プログラムに合わせて CPU コア内のレジスタの個数と演算器構成を最適化する手法を提案する。

(8) A Soft-Core Processor for Hardware/Software Co-design

中村秀一, 安浦寛人 (九大)

[概要] ハードウェア/ソフトウェア協調設計用ベース RISC プロセッサについて述べる。

(9) ハイパースカラ・プロセッサ・アーキテクチャ - Soft-Core Processor としての適応性 -

村上和彰 (九大)

[概要] 応用問題に合わせて機能ユニット構成を最適化可能なアーキテクチャとしてハイパースカラ方式を検証。

(10) リアルタイム OS のハードウェア化とその評価

板橋光義, Utama Andy (豊橋技科大), 仲野 巧 (豊田高専), 塩見彰睦, 今井正治 (豊橋技科大)

[概要] リアルタイム OS (μ ITRON) のサブセットを H/W 化するための方法とその評価について述べる。

●計算機アーキテクチャに関する一般発表

(11) 教育用マイクロプロセッサ KITE による設計教育の事例報告 末吉敏則, 田中康一郎, 久我守弘 (九工大)

[概要] マイクロプロセッサを設計する学部 3 年生 84 人の学生実験結果など 3 種類の学生実験事例を報告する。

(12) 教育用計算機 QP-DLX の開発と開発環境

岩井原瑞穂, 山家 陽, 中川智水, 國貞勝弘, 齋藤靖彦

永浦 涉, 池兼次郎, 中村秀一, 山田哲也, 村上和彰, 安浦寛人 (九大)

[概要] 教育用 32 ビット RISC プロセッサ QP-DLX のハードウェア記述言語 SFL を用いた設計とその設計環境。

(13) VHDL による相互結合網のモデル化と性能評価

奥村 勝, 末吉敏則 (九工大)

[概要] VHDL による相互結合網のモデル化と EDA 環境を利用したシミュレーション評価について述べる。

(14) 1 チップマイクロコンピュータ M 16 の高速シミュレータの開発

那須 隆, 岩田俊一, 清水 徹, 齊藤和則 (三菱電機)

[概要] ハードウェア記述言語の機能記述を基に C 言語でクロックを単位としたシミュレータを開発。

(15) ハイパースカラ・プロセッサ・アーキテクチャ - ソフトウェア・パイプライン処理に関する性能評価 -

弘中哲夫, 齋藤靖彦, 村上和彰 (九大)

[概要] ハイパースカラ+ベクトル・レジスタ+ソフトウェア・パイプライン処理で得られる性能を評価。

(16) PNPM' 93 (ベトリネットと性能モデルに関する第 5 回国際ワークショップ) 報告 奥川峻史 (京都産業大)

[概要] フランスで今年 10 月に開催された、高位・確率ベトリネットによる性能評価に関する国際会議報告。

* 今回の研究会は電子情報通信学会 (VLSI 設計技術研究会) との共催で開催されます。最終的なプログラムは、電子情報通信学会誌 11 月号をご覧ください。

* 懇親会: 16 日の研究会終了後に予定しています。

◆ソフトウェア工学研究会

◆プログラミング・言語・基礎・実践 - 研究会

上記の 2 研究会を下記のとおり連続開催いたします。文化の違う 2 つの研究会で下記のようなパネル討論も企画しました。皆さまの多くのご参加をお願いします。

日 程 平成 6 年 1 月 20 日 (木)・21 日 (金)

会 場 鹿児島大学 工学部
議 題 特集：ソフトウェア開発環境

●パネル討論会：オブジェクト指向は本当に役に立っているのか

ーソフトウェア工学の立場およびソフトウェア科学の立場からー 司会：大蔭和仁（電総研）

パネリスト：本位田真一（東芝）、佐伯元司（東工大）、久世和資（日本IBM）、加藤和彦（筑波大）

問合せ先 *前号（10月号）をご参照ください。

*懇親会：20日の研究会終了後に予定しています。

◆人工知能研究会

第93回研究会の発表論文を下記のとおり募集いたします。関連研究を奮ってご発表ください。

日 程 平成6年3月8日（火）

会 場 工学院大学

議 題 特集：遺伝アルゴリズム（GA）と人工生命（Alife）

Alifeに関する特別講演 Dr. Tom Ray（デラウェア大、現在ATR）もあります。

発表申込締切 平成5年12月15日（水）

問合せ先 吉田裕之（富士通研） Tel.(044)754-2675 Fax.(044)754-2570

◆情報メディア研究会

第15回研究会の発表論文を下記のとおり募集いたします。皆さまのご参加をお待ちしています。

日 程 平成6年3月11日（金）

会 場 工学院大学

議 題 特集：情報メディアと認識・合成システム

認識・合成技術により、情報メディアをユーザフレンドリにするシステムの試み。

発表申込締切 平成5年12月10日（金）

*発表申込希望者は研究会発表申込書（10月号本欄末添付）を事務局研究会係までご送付ください。

連絡先 中川 透（NTT） Tel.(0468)59-3820 Fax.(0468)59-2332

前田賢一（東芝研究開発センター） Tel.(044)549-2237 Fax.(044)549-2263

◆システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会

第63回研究会 発表論文募集

日 時 平成6年3月22日（火） 10：00～16：00（予定）

会 場 工学院大学

議 題 特集：分散、並列、超並列オペレーティングシステム

分散OS、並列OSなどに関係する論文を募集します。分散や並列OSの構成法、理論的側面、通信、セキュリティ、実際、分散プログラミング、トランザクション、ユーザ認証など、分散・並列OSに関するものなら結構です。

発表申込方法 研究発表申込書の様式で、発表題目、発表者名、略称所属、概要（46字以内）、発表申込者連絡先（住所、氏名、Tel.、Fax.、e-mail）をご記入のうえ、下記の申込先へe-mailまたはFax.で直接お申し込みください。

申 込 先 藤沢市遠藤5322 慶大・環境情報 萩野達也

Tel.(0466)47-5086 Fax.(0466)47-0835 e-mail:hagino@sfc.keio.ac.jp

発表申込締切 平成5年12月20日（月）

平成5年度研究賞の表彰

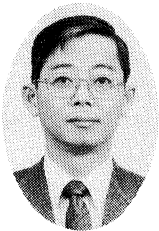
研究賞は、本学会の研究会および研究会主催シンポジウムにおける研究発表のうちから特に優秀な論文を選び、その発表者に贈られるものです。受賞者は該当論文の登壇発表者である本学会の会員で、年齢制限はありません。

この賞は研究会活動活性化の施策に基づき、昭和62年度から新設され、本年度は去る10月6日に鳥取大学で開催された第47回全国大会の席上、会長から表彰状、賞牌、賞金が下記の16君に授与されました。

本賞の選考は、表彰規程、研究賞受賞候補者選定手続および研究賞推薦内規に基づき、調査研究運営委員会（委員長 榎本 肇）が選定委員会となって行います。今年度は表彰対象の11研究会（23研究会を奇数歴年度組と偶数歴年度組に分け、本年度は前者、来年度は後者の隔年表彰）の主査から推薦された計16編の優れた論文に対し、慎重な審議を行い、受賞候補者として推薦のうえ、第377回理事会（平成5年6月）の承認を得て決定されたものです。

● 日英機械翻訳のための意味解析辞書

[91-NL-84(1991.7.19)]



池原 悟君（正会員）

昭和19年生。昭和42年大阪大学基礎工学部電気工学科卒業。昭和44年同大学大学院修士課程修了。同年日本電信電話公社に入社。以来、電気通信研究所において数式処理、トラヒック理論、自然言語処理の研究に従事。現在、NTT情報通信網研究所知識処理研究部主幹研究員。工学博士。昭和57年情報処理学会論文賞

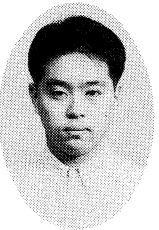
受賞。電子情報通信学会、人工知能学会各会員。

[推薦理由]

自然言語における意味処理の実現には、その目的と範囲を明確にし、それに合わせた知識の収集、整理が大切である。本論文では意味処理を「意味解析」と「意味理解」の二つのプロセスに分け、意味解析に必要な知識を約3,000種の単語意味属性を媒介とする「単語意味辞書」、「構文意味辞書」の二つの辞書にまとめている。これにより文型記述能力の大幅な向上を達成し、従来記述できなかった文型の記述には、3,000種程度の意味属性分解精度は必要であることを示している。その成果は貴重なものであり、研究賞に値する。

● 並列構造の検出に基づく長い日本語文の構文解析

[92-NL-88(1992.3.12)]



黒橋 禎夫君（正会員）

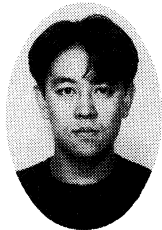
1966年生。1989年京都大学工学部電気工学第二学科卒業。現在、同大学院工学研究科博士後期課程在学中。自然言語処理、知識情報処理の研究に従事。人工知能学会、ACL各会員。

[推薦理由]

従来の構文解析手法では、長い文中に多く存在する並列構造を正しく認識することが非常に困難であり、これが長い文の解析上の大きな問題であった。本研究ではこの原因を、従来の局所的視点に基づく解析手法ではとらえきれない種々の文中の情報に目を向けていないためと考え、より広い視点で文の構造をとらえようとしている。文内の広い範囲を同時的に調べることにより検出した並列構造の利用により、複雑な規則を用いなくても簡単な係り受け解析だけで、長い文の非常に高精度な構文解析が可能であることを示したことは高く評価できる。

● インターリーブによるリアクティブ・プランニング

[91-AI-79(1991.11.26)]



山田 誠二君 (正会員)

1960年生。1984年大阪大学基礎工学部制御工学卒業。1989年同大学院基礎工学研究科博士課程修了。同年基礎工学部制御工学助手。1991年より大阪大学産業科学研究所講師。現在に至る。工学博士。人工知能、特に機械学習、リアクティブ・プランニングに関する研究に従事。現在、移動ロボットの定性ナビゲーション、DAI

における他者の認識などに興味をもつ。人工知能学会、認知科学会、日本ソフトウェア科学会、AAAI、IEEE各会員。

[推薦理由]

静的な世界を扱う古典的なプランニング手法に比べて、外界の変化を考慮するリアクティブ・プランニングは、実世界の問題解決に適した手法として注目を集めている分野である。本研究は、外界の変化に合わせて、プランニングと実行/観測を交互に行うインターリーブを用いてプランニングを行う。そして、この際に問題となるプランニングと実行/観測の切替のタイミングをプランの成功確率を基に理論的に計算し、リアクティブ・プランニングの新しい手法を提案したことでその研究意義は大きい。

● ソフトウェアプロセスにおける協調メカニズムの抽象化について

[92-SE-83(1992.2.7)]



松浦佐江子君 (正会員)

1955年生。1979年津田塾大学学芸学部数学科卒業。1982年同大学院理学研究科数学専攻修士課程修了。1985年同大学院理学研究科数学専攻博士課程単位取得退学。同年4月(株)管理工学研究所入社、研究員。現在、情報処理振興事業協会・新ソフトウェア構造化モデル研究本部に出席中。

[推薦理由]

本研究は、ソフトウェア開発のプロセスやノウハウの再利用を目的とし、問題に特化された具体的なプロセスをプロセス利用の目的に適合するように抽象化・具体化するという観点から、ソフトウェアプロセスのモデル化と記述法を考察している。とくに、タスクとリソースの間での協調動作を重要視し、こうした協調メカニズムについて、具体的な例をあげ、分析をしている。この研究は、ソフトウェアプロセスの応用という点からも、また、協調動作の定式化という点からも高く評価でき、今後のこの分野での研究に大きく貢献するものと考えられる。

● ソフトウェア開発のコストダウンモデルとその適用

[92-SE-84(1992.3.3)]



青山 幹雄君 (正会員)

1954年生。1978年岡山大学工学部電子工学科卒業。1980年同大学院工学研究科修士課程修了。同年富士通(株)入社。現在、同社ビジネス通信事業本部にて分散処理ソフトウェアシステムの開発方法、開発支援環境、ソフトウェア開発プロセスの管理などの開発と適用に従事。1986～88年米国イリノイ大学客員研究員。

IEEE Softwareの編集委員、IEEE COMPSACなどのプログラム委員、電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、IEEE、ACM各会員。

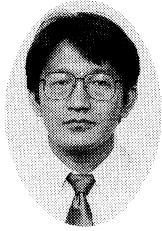
[推薦理由]

システムの開発費用に占めるソフトウェアの開発の割合が増大する中で、ソフトウェア開発工程全体にわたる包括的な費用削減方法を提案し、実際の開発プロジェクトに適用してその効果を検証している。本研究の特徴は、開発プロセスの改善と自動化や生産物の再利用という、従来から提唱されている考え方を開発工程全体に適用した点にある。包括

的な費用削減によって総費用の約10%の削減を達成した効果は大きい。また、既存の生産物の再利用に伴う費用の増大、利用資産の競合など、費用増大の要因を発見している点が評価できる。

● 並列計算機 EM-4 における分散データ構造を用いたマルチスレッドプログラミング

[92-ARC-92(1992.1.23)]



佐藤 三久君 (正会員)

昭和34年生。昭和57年東京大学理学部情報科学科卒業。昭和61年同大学院理学系研究科博士課程中退。同年新技術事業団後藤磁束量子情報プロジェクトに参加。平成3年より、通産省電子技術総合研究所勤務。現在、同所情報アーキテクチャ部計算機方式研究室主任研究官。理学博士。並列処理アーキテクチャ、言語および

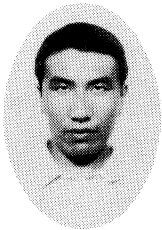
コンパイラ、計算機性能評価技術などの研究に従事。日本応用数学会会員。

[推薦理由]

本論文の著者は、著者らが開発したデータ駆動計算機において、データ駆動機構を一連の命令の逐次実行の高速な起動、同期の機構として捉えなおし、多数の実行スレッドを効率的に生成・制御する並列プログラミングモデルを考案している。本論文では、このモデルを踏まえて、多数の並列実行が分散メモリ下において、共有する分散データ構造について提案し、効率的で柔軟な通信・協調が実現できることを示した。本方式のアイデアは興味深く、かつ、実用性に富んでおり、今後の並列処理技術に対して貢献するものと期待される。

● マルチステージネットワーク : PBSF (Piled Banyan Switching Fabrics)

[92-ARC-94(1992.6.12)]



天野 英晴君 (正会員)

1958年生。1986年慶應義塾大学工学部大学院博士課程修了。工学博士。並列計算機の研究に従事。現在慶應義塾大学工学部専任講師。著書「誰にもわかるデジタル回路」(オーム社)、「並列処理機構第5章」(丸善)。

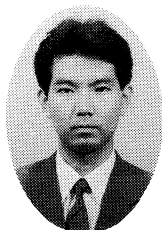
[推薦理由]

多段結合網は、並列計算機の結合網として優れた点を持ちながら、大規模な高速結合網の実装に困難な点が多かった。本論文の著書らは、Simple Serial Synchronized (SSS)型と呼ぶ新しい構成方式を提案し、従来のMINの約8分の1のチップ数でほぼ同程度の性能の実現を可能にした。著書らが開発したLSIチップには従来型MINでは実現が困難であったメッセージ結合機構が世界に先駆けて実装されている。本論文では、さらに結合トポロジを改善し、従来型のMINを絶対性能の点でも凌駕することを可能にした。

● Dempster-Shafer の確率モデルに基づくパターン分類

— 観測情報からの信念の形成と仮想信念空間を用いた信念の統合 —

[画像の認識・理解シンポジウム(1992.7.16)]



栗田 充隆君 (正会員)

昭和45年生。平成4年岡山大学工学部情報工科学科卒業。現在、同大学院工学研究科修士課程在学中。パターン認識、画像理解の研究に従事。

[推薦理由]

画像理解やコンピュータビジョンでは、不完全な観測情報から、いかに妥当なシーンの解釈を得るかが大きな問題である。本論文は、Dempster-Shafer の確率モデルを上記問題に適用して、観測データから信念を表わす確率関数を構成するアルゴリズムを与えるとともに、同モデルの持つ問題点を解決するための新しいアルゴリズムも与えた。本論文は、パターン認識における不確実性の問題を信念の形成・統合という概念で統一的に扱おうとする提案であり、今後この研究分野の発展に大きく貢献するものと期待される。

● カメラ焦点距離の最適キャリブレーションシステム

[93-CV-82(1993.3.18)]



丸山 保君 (正会員)

昭和 45 年生。平成 4 年 3 月群馬大学工学部情報工学科卒業。現在、同大学大学院工学研究科修士課程知識情報工学専攻。画像処理、画像からの 3 次元形状の復元などの研究に従事。

[推薦理由]

カメラの画像から 3 次元解釈を計算するには、カメラの焦点距離が正確にキャリブレーションされていなければならない。本論文は、格子ボタンを用いるキャリブレーションにおいて、計算される焦点距離の信頼性が最大になるという意味で、格子ボタンを最適に設計できることを理論的に明らかにし、その設計方法と実際の試作システムを示した。焦点距離の計算誤差に関する従来議論の一つの決着をつけた意味で、本研究の成果は高く評価されるものであり、今後ロボットビジョンをはじめとするコンピュータビジョン研究の発展に大きく貢献するものと期待される。

● ATM リングのアーキテクチャと高速マルチメディアネットワークへの適用

[91-DPS-50(1991.5.17)]



笠原 英樹君 (正会員)

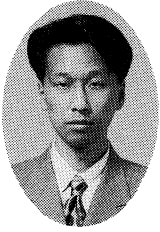
1961 年生。1984 年埼玉大学工学部電子工学科卒業。1986 年同大学院工学研究科修士課程修了。同年 NTT 通信網第 1 研究所（現交換システム研究所）入所。高速パケット交換方式、ATM 交換方式マルチメディア LAN などの研究に従事。現在、NTT 関西支社通信システム本部勤務。電子情報通信学会会員。

[推薦理由]

高速 LAN, MAN などに適用可能な ATM 技術と親和性が高いスロットドリング向きアクセスプロトコルである ATM リングプロトコルを提案している。本プロトコルは分散型ノード間フェアネス制御およびメディア間優先制御等方式的特長を有しており、マルチメディア/マルチアクセスネットワークの有効なアクセス方式の一つとなる可能性が高い。また本プロトコルを実装した ATM リングシステムのプロトタイプを作成し、実用性の面からの検証も充分に行っている。以上の点から映像情報を含むマルチメディア応用システムの実現に対して大きな貢献が期待でき、研究賞に値する。

● 優先度に基づく全順序放送通信プロトコル

[91-DPS-52(1991.9.26)]



中村 章人君 (正会員)

1966年生. 1989年東京電機大学理工学部経営工学科卒業. 1991年同大学院理工学研究科システム工学専攻修士課程修了. 現在, 同大学院理工学研究科応用システム工学専攻博士課程在学中. 通信プロトコル, 分散型システムなどの研究に従事.

[推薦理由]

グループウェアシステムなどの今後の分散処理システムでは, 複数のエンティティ間での高信頼なデータ転送サービスに加えて, 応用で扱うデータの種類や意味に基づいた優先データ転送サービスが必要となる. 本論文は, 複数エンティティ間の高信頼な優先データ転送サービスの形式的なモデルを示し, これを提供するためのプロトコルを示している. 本プロトコルは, データを優先度の高い順に全宛先に同じ順序で配送するものである. 本論文は, 分散型システムを実現する上で重要となる通信システムへの優れた寄与であり, 研究賞に値する.

● 測色概念に基づく正確なレンダリング技術

[91-CG-50(1991.5.24)]



大島 哲也君 (正会員)

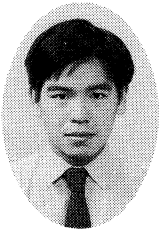
1954年生. 1977年名古屋大学工学部電子工学科卒業. 1979年同大学院情報工学研究科修士課程修了. 同年トヨタ自動車(株)に入社し, 情報システム部門, デザイン部にて, 自動車デザイン分野のシステム開発に従事. 現在, デザイン部システム技術室課長. スタイリング, カラーデザインのCAD開発を担当中.

[推薦理由]

各種工業製品の意匠デザインでは, 実物を撮影した写真並の正確なレンダリングが求められる. このため, 本論文は, 実際の塗装面に対して光学的な反射特性を計測するとともに, この計測法に基づいたシェーディングの計算式を考案している. 光源に対しても場所・時刻・天候を反映した全天空の輝度分布や地表からの反射を反映してモデル化するなど, 物理現象を解析し, より忠実にモデル化することで実写映像に近い画像が生成できたとする貴重な報告で, この研究の成果は高く評価できるものである.

● 継続つきプログラミング言語と線形論理

[91-PRG-1(1991.4.26)]



西崎 真也君 (正会員)

1967年生. 1989年京都大学理学部卒業. 1991年同大学院理学研究科修士課程修了, 同研究科博士後期課程進学. 現在, 特別研究学生として東京大学理学系研究科に在学. プログラミング言語意味論とその応用に興味をもつ. 日本ソフトウェア科学会, ACM 各会員.

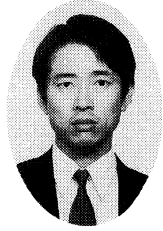
[推薦理由]

本論文は, 通常のラムダ計算の等式理論ではうまく扱えない「継続」の概念とその性質が, 線形理論を用いて説明可能であることを示したものである. すなわち, 継続つきプログラミング言語から線形論理への変換を定義することにより, このことを示している. さらに, 継続つきプログラムの特徴である計算結果が評価戦略に依存する点など, 継続に

関する性質について本質的な洞察に基づく緻密な分析を行っている。その分析手法およびその結果は、継続を含む言語の諸性質の理解に貢献するものと期待される。以上の理由により本論文は研究賞に十分値するものである。

● 環境型語学用知的 CAI システム

[92-CE-20(1992.1.17)]



山本 秀樹君 (正会員)

1961年生。1984年京都大学工学部電気工学科卒業。同年沖電気工業(株)入社。データベースマシンの研究、エキスパートシステム、知識ベースシステム構築ツール、知的CAIシステム、機械翻訳など、人工知能関連の研究に従事。現在、沖電気工業(株)関西総合研究所に勤務。知識獲得と知識表現に興味をもつ。AAAI, ACL,

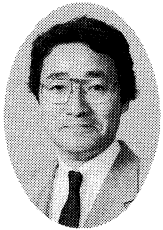
ACM, 人工知能学会, 電子情報通信学会各会員。

[推薦理由]

著者は、他の協力者とともに、英会話学習用知的CAIシステムを、音声入力・画像出力のマルチメディア・インタフェースを有効に活用した新しい方式の下に構築した。そのシステムは実用性も高く、学習効果も大きいことが確認されている。それを完成した功績は高く評価される。さらに今後のマルチメディアCAIの一つの手本となることを期待する。

● 画像処理による節用集(日用百科書)の使用実態の分析

[92-CH-14(1992.6.5)]



横山 俊夫君 (正会員)

1947年生。1970年京都大学法学部卒業。1972年同大学大学院法学研究科修士課程修了。同年より京都大学人文科学研究所助手。1976年よりOxford大学近代史学部大学院留学。1979年同博士課程修了。1981年京都大学人文科学研究所助教授。現在に至る。1983年Oxford大学より哲学博士。1993年Tubingen大学客員教授。欧

州日本研究者協会, 比較法史学会各会員。

日欧文化交渉史, 日本文明史を専攻。著書「Japan in the Victorian Mind」(London: Macmillan, 1987), 「視覚の一九世紀」(京都: 思文閣出版, 1992)など。1980年以来、日本の日用書の使用実態調査を行う。けいはんなセミナー「人間・生物・時間」主宰。

[推薦理由]

永年使用した辞書の下小口には、使用頻度に応じた黒い手垢の跡が残る。本研究は、15世紀半ばに生まれ19世紀に至るまで日用百科事典として広く利用されていた「節用集」に残されたこの手垢条痕を分析し、当時の人々の生活様式の類型を示そうというものである。本研究の優れている点は、これまで着目されなかった手垢条痕を「情報」とした発想であり、それを利用可能な形にするために画像処理、多変量解析、クラスター分析などの手法を駆使している点である。また、その分析結果も、従来の理論を見直すべき点が多くあることを示している。

● 映像メディアのインテリジェント化

[91-IM-4(1991.11.8)]



柴田 正啓君 (正会員)

1956年生。1979年京都大学工学部電子工学科卒業。1981年同大学大学院工学研究科修士課程修了。同年NHK入社。1984年よりNHK放送技術研究所に勤務。情報検索、画像データベース、映像合成システムの研究に従事。

[推薦理由]

情報メディア研究会設立の主旨「各種の情報がどのように伝達され、どう分類整理され、いかに獲得され、膨大な情報の中からなぜ抽出されるか、というような情報そのものの生態に関する観察とその体系化を議論する」に従って、本論文は情報の作成環境における、表現メディア(表現情報)の取り扱いだけでなく、情報の伝達、分類整理、獲得方法について提案し、かつ実現の議論を深め、研究賞にふさわしいものとする。

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム '93 及び併設講習会」 開催について

——マルチメディアデータベースシステム技術の現状と将来——

データベースシステム技術は情報処理システムの中核技術として近年その進歩は著しく、データベースはデータの単なる格納庫から脱却し、企業のさまざまな生産活動を直接支援するかけがえのない機能を果たすべく期待されている。特にデータベースのマルチメディア化への期待は大きく、データベースシステムは、従来の文字・数値データに加えてテキスト、図形、静止画像、動画像、音など、さまざまなデータを統合・一元管理できることを要求されている。しかしながら、現在そのためのマルチメディアデータベースシステム技術は確立されていない。

そこで本シンポジウム及び併設講習会では、最近のマルチメディア・ハイパーメディアデータベースとその関連技術の現状を特集し、その将来を展望してみる。

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム '93 講習会」

——マルチメディア・ハイパーメディア標準化の最新動向——

日 時 平成5年12月1日(水) 9:30~17:00

場 所 工学院大学3階312教室(新宿区西新宿)

参加費 会員 10,000円 学生会員 2,000円 一般 15,000円

(講習会とシンポジウムの両方に参加される場合は割引料金となります。詳しくは参加申込書をご覧ください。)

主 催 情報処理学会 データベースシステム研究会

申込締切 平成5年11月19日(金)

プログラム

9:30~11:00 マルチメディアデータベース技術の現状と将来

増永 良文(情報大)

11:00~11:15 コーヒーブレイク

11:15~12:45 Hyper ODA の最新動向

藤村 是明(電総研)

12:45~13:45 昼休み

13:45~15:15 MHEG の最新動向

亀山 涉(GCL)

15:15~15:30 コーヒーブレイク

15:30~17:00 HiTime の最新動向

小町 祐史(松下電送)

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム '93 (本会議)」

——マルチメディアデータベースシステム技術の現状と将来——

日 時 平成5年12月2日(木) 9:00~19:00

3日(金) 9:00~19:30

場 所 工学院大学3階312教室(新宿区西新宿)

参加費 会員 15,000円 学生会員 3,000円 一般 20,000円

(講習会とシンポジウムの両方に参加される場合は割引料金となります。詳しくは参加申込書をご覧ください。)

主 催 情報処理学会 データベースシステム研究会

申込締切 平成5年11月19日(金)

プログラム(一般論文の講演時間は40分、ただし<S>印は25分、含質疑応答)

12月2日(木) 9:00~19:00

9:00~9:05 主査挨拶 シンポジウム開催にあたって

増永 良文(情報大)

9:05~9:50 基調講演 マルチメディアデータベースシステムの技術課題

上林 弥彦(京大)

9:50~11:35 ハイパーメディア

・ハイパーメディアシステム「雅」におけるメディアナビゲーション方式 平田 恭二, 原 良憲(NEC)

・アクティブ機能を持つハイパーメディアデータベースの試作

内藤 広志, 佐藤 衛, 松山 洋一, 山下 真司, 柵木 孝一(キャノン)

・アプリケーション統合を目的としたハイパーメディアの構築と実システムへの適用 <S>

阿倍 博信, 土田 泰治, 佐々木幹郎 (三菱)

11: 35~12: 35 昼休み

12: 35~14: 35 サーベイセッション(1) マルチメディア要素 -a-

- ・画像データベース技術の現状と将来 岡崎 彰夫 (東芝)
- ・動画データベース技術の現状と将来 -Obase プロジェクトにおける動画情報への扱い- 田中 克己 (神戸大), 下條 真司 (阪大)

14: 35~14: 50 コーヒーブレイク

14: 50~17: 00 オブジェクト指向データモデル

- ・ObaseSQL: 拡張経路式と継承演算子を持つオブジェクトベース言語
吉川 正俊 (奈良先端科技大), 田中 克己 (神戸大), 上善 恒雄 (千里国際情報事業財団),
田中 康暁 (奈良先端科技大), 蛭井 潤 (神戸大), 堀田光治郎 (コベルコシステム)
- ・オブジェクト指向データベースにおける経路存在従属性と属性キー制約
神谷 誠 (神戸大), 大本 英徹 (京都産大), 田中 克己 (神戸大)
- ・プロトタイプモデルに基づくインクリメンタルなデータベース管理モデル <S>
増田 佳弘, 植田 学, 石飛 康浩 (富士ゼロックス)
掛下 哲郎 (佐賀大)

17: 00~17: 15 コーヒーブレイク (お茶菓子付き)

17: 15~19: 00 アドバンスドデータベースシステム

- ・スーパーデータベースコンピュータ第二版(SDC 2)のシステムソフトウェア
中村 稔, 田村 孝之, 喜連川 優, 高木 幹雄 (東大)
- ・Dynamic Skew Handling for Parallel Joins in Shared-Nothing Database Systems
原田リリアン (富士通研), 喜連川 優 (東大)
- ・ネットワーク管理におけるオブジェクトデータベースの利用 <S>
北橋 雅子 (情報処理振興事業協会), 野口 正一 (日大)

12月3日 (金) 9: 00~19: 30

9: 00~12: 00 サーベイセッション(2) マルチメディア要素技術 -b-

- ・マルチメディア通信技術の現状と将来 山下 正秀 (NTT)
- ・音声データベースの現状と将来 板橋 秀一 (筑波大)
- ・テキストデータベース技術の現状と将来 小川 泰嗣 (リコー)

12: 00~13: 00 昼休み

13: 00~14: 45 マルチメディアデータモデル

- ・マルチメディアデータモデル OMEGA における音データと動画データのサポート 増永 良文 (情報大)
- ・映像データベースシステムの構成の一方式 有澤 博, 由井 仁, 富井 尚志 (横浜国大)
- ・多様情報生成の為の生命的創発性情報処理
—マルチメディア・データベースの構築の記述問題の検討— <S> 米澤 保雄 (愛知技短大)

14: 45~15: 00 コーヒーブレイク

15: 00~16: 05 エンジニアリングデータベース

- ・建築物設計支援のための空間オブジェクトモデル
高松 利行 (大和ハウス, 神戸大), 堺 千秋, 浅野 憲秀 (大和ハウス), 田中 克己 (神戸大)
- ・コンカレント・エンジニアリングのための CAD オブジェクト管理の検討 <S>
増井 久之, 宇田川佳久 (三菱)

16: 05~16: 10 ショートブレイク

16: 10~17: 40 テキストデータベース

- ・情報検索システムの評価のためのベンチマークデータベースの構築
石川 徹也 (情報大), 小川 泰嗣 (リコー), 木本 晴夫 (NTT), 芥子 育雄 (シャープ),
田中 智博 (NTT), 豊浦 潤 (三菱), 福島 俊一 (NEC), 増永 良文 (情報大)
- ・意味ベクトルによる百科事典テキストデータベースの構築 <S>
芥子 育雄, 池内 洋, 小淵 保司 (シャープ)
北村 啓子 (国文学研究資料館)
- ・古文書を表現するためのマルチメディアデータモデル <S>

17: 40~18: 00 コーヒーブレイク

18: 00~19: 30 パネルセッション

マルチメディアデータベースとは何か—その要件と要素技術—

司会: 増永 良文 (情報大)

パネリスト: 植村 俊亮 (奈良先端科技大), 田中 克己 (神戸大), 内藤 広志 (キャノン), 洪 政国 (日本 IBM)

「アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム'93 及び併設講習会」

参加申込書

平成5年 月 日

標記シンポジウム／併設講習会の参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

- (1) アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム'93 及び併設講習会に参加
正会員, 賛助会員 20,000 円 学生会員 4,000 円 非会員 28,000 円
- (2) アドバンスト・データベースシステム・シンポジウム'93 のみ参加
正会員, 賛助会員 15,000 円 学生会員 3,000 円 非会員 20,000 円
- (3) 併設講習会のみ参加
正会員, 賛助会員 10,000 円 学生会員 2,000 円 非会員 15,000 円
*参加費には, 論文集代(本シンポジウム), 資料代(併設講習会)が含まれています。
*連絡なき欠席の場合にも参加費をいただきます。

○シンポジウム論文集のみ(6,000 円, 送料込) _____ 冊

○併設講習会資料のみ(3,000 円, 送料込) _____ 冊

○送金方法(該当するものを○で囲む)

合計 _____ 円を

- a) 当日, 会場受付にて支払います。
- b) 現金書留で _____ 月 _____ 日送金します。
- c) 銀行振込(いずれも普通預金口座)で _____ 月 _____ 日送金します。

- 1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562
- 2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会
送金人名義 _____ 様

*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通
請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

○申込先・送金先 (Fax も可)

情報処理学会 シンポジウム係
〒160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F
Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先〒 _____

機関・
部課名 _____

フリガナ _____ 氏名 _____ 殿 (_____ 会員番号 _____)

Tel. _____ (ext. _____) Fax. _____

「コンピュータと教育」シンポジウム開催について

—— 初等中等教育におけるコンピュータの役割 ——

平成3年7月に情報処理学会「計算機教育」シンポジウムが夏のシンポジウムとして開催され、活発な発表・討論の中で初等中等教育における計算機の取扱いの重要性が議論されました。このたび、標記シンポジウム開催の運びとなりました。多数の方々のご参加をお願いいたします。

- 日 時** 平成5年12月7日(火) 10:30 ~9日(木) 12:00
- 会 場** 工学院大学3階312 教室(東京都新宿区西新宿1-24-2, 新宿西口地下4号通路より西へ徒歩4分)
Tel. (03)3342-1211
- 主 催** 情報処理学会 コンピュータと教育研究会
- 協 賛** 日本数学教育学会
- 参 加 費** 正会員 15,000円 非会員 25,000円 学生会員 5,000円 (いずれも論文集を含む)
論文集のみ 5,000円 (送料込)
- 申込締切** 平成5年11月29日(月)
論文集のみの方は印刷部数に限りがありますので、なるべく早めにお申込みください
- 申 込 先** 〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27F
(社)情報処理学会「コンピュータと教育」シンポジウム係
Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

予定プログラム概要

- | | | | |
|-------------------------------------|----|--------------------------|----------------|
| 第1日 | 午前 | 基調講演 初等中等教育におけるコンピュータの活用 | 吉村 啓(国立教育研) |
| | 午後 | 工業高校におけるコンピュータ利用 | 菅原 彪(府中工高) |
| | | 物理教育におけるコンピュータ利用 | 有山 正孝(電通大) |
| | | システム化技術に関する教育への取り組み | 魚住 董(沼津工業高専) 他 |
| 第2日 | 午前 | 大学一般情報処理教育と初等中等教育との接点 | 大岩 元(慶大) |
| | | 分数のCAI | 大槻 説乎(九工大) |
| | 午後 | パネル討論 | 司会 一松 信(電機大) |
| パネリスト: 鈴木勢津子(CEC), 吉田 克信(横浜市情報センター) | | | |
| 飯高 茂(学習院大), 植竹 恒男(亜細亜大) | | | |
| 伊藤 道幸(お茶の水女子大付属中) | | | |
| 第3日 | 午前 | 生徒の実態に応じた学習指導の改善 | 北村 光一(滋賀栗東高校) |
| | | 初等中等教育向け数式エディタ | 内山 靖文(工学院大) 他 |

「コンピュータと教育」シンポジウム
参加申込書

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○で囲む）

会員 15,000円 非会員 25,000円 学生会員 5,000円

*参加費には論文集代が含まれています。

*連絡なき欠席の場合にも参加費を徴収させていただきます。

○論文集のみ（5,000円、送料込）____冊

○送金方法（該当するものを○で囲む）

合計 _____円を

a) 当日、会場受付にて支払います。

b) 現金書留で

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で _____月 _____日送金します。

1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金人名義 _____様

*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 __通, 見積書 __通, 納品書 __通

請求先 _____

注) 申込書は 1枚 1人としてください。(コピーで申し込むこと)

○申込先・送金先 (Fax も可)

情報処理学会 シンポジウム係

〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27F

Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

.....
(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先〒 _____

機関・
部課名 _____

フリガナ
氏名 _____

会員番号
殿 (_____)

Tel. _____ (ext. _____) Fax. _____

申込書

「第35回 プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ

自由な雰囲気の中で計算機の無限の可能性を討論し、開拓することを目指した「プログラミング・シンポジウム」が今年度も下記のとおり開催されます。今回は特に新しい計算モデル、ユーザインターフェイスなどの分野の発表が多く、夜のテーマ別自由討論を含めて活発な討議が期待されます。興味をお持ちの方の広範な参加を期待します。

参加ご希望の方は、期日までに所要事項を申込書に記入の上お申し込みください。

— 記 —

日 時 1994年1月11日(火) 午前11時 受付開始(この日の昼食は用意しません)
午後1時開会
13日(木) 正午 閉会

場 所 箱根 ホテル小涌園(神奈川県足柄下郡箱根町二の平1297) Tel. 0460(2)4111

交 通 路線バス: 小田原駅表口<登山バス>箱根町行~小涌園前 約40分
箱根湯本駅~小涌園前 約30分
タクシー: 小田原駅表口~小涌園前 約30分
箱根湯本駅~小涌園前 約20分

参加費 (予稿集代、宿泊費、食費を含む。括弧内は非会員参加費)
☆一般 43,000円(48,000円)
☆大学院学生 30,000円(35,000円)
※二つ以上の身分をお持ちの場合は、高い方の会費を適用させていただきます。

申込締切 1993年11月30日(火)

- 注) 1. 参加申込後、やむを得ず参加を取消される場合は12月16日(木)までにお願ひします。取消の連絡の無い場合は、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。事情による代理の方の参加は認めず。
2. 会場、宿泊施設の都合で、お申込に応じかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
3. 同一所属からの参加者数は適当にご調整下さい。
4. 開催期間中での中途での出入りや、人員の交替はご遠慮下さい。

— プログラム —

☆☆第1日 1月11日(火)
開会の辞(13:00~13:15)

セッション1(13:15~15:15)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------|
| ◇OSの教育システムについて | 座長 大野 浩之(東工大) |
| ◇パソコンの組み立て方教えます | 並木 美太郎、早川 栄一、高橋 延匡(農工大) |
| ◇計算機実習の実態調査 — 事象時刻データから何がわかるか? — | 柏川 正充(筑波大) |
| | 角田 博保(電通大) |
- 休憩(15:15~15:35) —

セッション2(13:15~17:35)

- | | |
|--|--|
| ◇パイプラインとキャッシュを活用するためのプログラミング技法 | 座長 永松 札夫(東大) |
| ◇力学モデルによる超並列指向文字認識のいくつかの可能性 | 前野 年紀、太田 昌孝(東工大) |
| | Rodney G. Webster、永岡 健、寺村 健、中川 正樹(農工大) |
| ◇SSA(Static Single Assignment)形式を使った最適化コンパイラ | 佐藤 三久(電総研) |
- 夕食(18:00~19:00) —

自由討論(19:30~)

☆☆ 第2日1月12日 (水)

セッション3(9:00~10:20)

座長 並木 美太郎 (農工大)

◇計算機特徴に合わせた並列アルゴリズムの最適分割数

須崎 有康、栗田 多喜夫、田沼 均、平野 聡、一杉 裕志 (電総研)

◇グラフ構造理解のための単純無向グラフの自動描画アルゴリズム

鈴木 和彦 (慶大)

— 休憩(10:20~10:40) —

セッション4(10:40~12:00)

座長 大木 敦雄 (筑波大)

◇ダイヤルトーンを用いた計算機アクセスシステム

本間 一也、矢吹 道郎 (上智大)

◇マルチモーダル・ヒューマンインターフェースの試み

安村 通晃 (慶大)

— 昼食(12:00~13:20) —

招待講演(13:20~14:50)

◇脳とコンピュータ

電総研 松本 元

— 休憩(14:50~15:10) —

セッション5(15:10~17:10)

座長 来住 伸子 (津田塾大)

◇視線ポインティングデバイスの試作と評価 - 目は口ほどにものをいうか? -

赤池 英夫、角田 博保、飯島 純一 (電通大)

◇ユーザ・インターフェイスの独立

立山 義祐、寺田 実 (東大)

◇アイコンは投げられるか?

久野 靖、大木 敦雄 (筑波大)、角田 博保 (電通大)、粕川 正充 (筑波大)

報告(17:10~17:30)

◇夏のシンポジウム、GPCC、山内賞の報告

— 夕食(18:00~19:00) —

自由討論(19:30~)

☆☆ 第3日1月14日 (木)

セッション6(9:00~10:20)

座長 寺田 実 (東大)

◇生命的創発プログラミング —Emergent Programming as Life—

米澤 保雄 (愛知技術短大)

◇仮想生物を利用したシミュレーション・システム

金磯 善博 (インテリジェント・テクノロジー)、

平野 一路 ()、美馬 のゆり、広田 光一、里美 充則 (東大)

— 休憩(10:20~10:40) —

セッション7(10:40~12:00)

座長 金田 泰 (新情報開発)

◇化学結合論をmetaphorとする情報の代謝モデル

永山 辰巳 (ソニーコンピュータサイエンス研究所)

◇有機プログラミング事始め

中島 秀之 (電総研)

閉会の辞(12:00~12:15)

米田委員長

— 昼食(12:15~13:00) —

※ポスターセッション、デモンストレーションなどの場を用意しています。自由に御活用下さい。展示ご希望の方は当日御用意下さい。

※一般講演は発表25分、討論15分を予定しています。なお、日程については若干の変更があるかも知れません。

※自由討論のテーマは参加者からアイデアを募り、当日決定します。奮ってご参加下さい。

※最終日は閉会后、昼食の用意をしています。

「第 35 回プログラミング・シンポジウム」

参加申込書

平成 5 年 月 日

1. 参加区分
- | | | | |
|--------|--------------------------|--------------------------|------------|
| | 会 員 | 非会員 | 会員番号 _____ |
| ☆一般 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| ☆大学院学生 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |

※参加区分は、該当の□の中にレを入れてください。さらに情報処理学会会員の方は、会員番号もご記入ください。

2. 送金、支払い方法

a) 当日持参します。

b) ¥ _____ 也を次の方法で送金します。(送金日 _____ 月 _____ 日)

b-1) 現金書留 b-2) 郵便振替 (東京 5-83484) b-3) 銀行振込 (_____ 銀行宛)

銀行振込口座番号 (いずれも普通預金)

第一勧銀新宿西口支店 2049562 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人: 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 _____ 通, 見積書 _____ 通, 納品書 _____ 通
請求先名義 _____

3. 次の各項目は部屋割の資料として使います。

◇年齢は _____ 歳・内緒 男・女

◇宿泊室は 喫煙室希望・禁煙室希望

◇そのほか特に希望があればご記入ください。(必ずその通りにすると約束はできません。)

4. 次の各項目はシンポジウム運営の参考にします。

◇夜の自由討論の希望テーマ _____

◇マイコン・ビデオデモなどの展示, 発表希望 _____

5. 申込み先 (下記まで郵送か Fax で送付のこと)

情報処理学会「プログラミング・シンポジウム」係

〒160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 階

Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

申込者
連絡先 〒 _____

機関・
部課名 _____

フリガナ
氏 名 _____ 殿

Tel. _____ (ext. _____) Fax. _____

e-mail _____ (公開可能な方のみ)

注) 枠内をコピーして宛先として案内を郵送できるようご記入ください。

会
告

「1994年情報学シンポジウム」開催について

—— マルチメディアと情報システム ——

- 日時** 1994年1月12日(水)～13日(木) 9:00～17:10
- 場所** 日本学術会議講堂 〒106 港区六本木 7-22-34 (地下鉄千代田線, 乃木坂駅下車)
- 共同主催** (予定) 日本学術会議 情報学研究連絡委員会
 学術文献情報研究連絡委員会
 学術データ情報研究連絡委員会
 情報工学研究連絡委員会
 情報処理学会, 人工知能学会, 日本医学会, 日本化学会, 日本数学会, 日本地理学会, 日本物理学会,
 情報知識学会, 日本生物物理学会
- 後援** (予定) 学術情報センター, 計測自動制御学会, 国際電信電話(株), 情報科学技術協会, 情報通信学会,
 電子情報通信学会, 日本医療情報学会, 日本科学技術情報センター, 日本機械学会, 日本金属学会,
 日本原子力学会, 日本材料科学会, 日本材料学会, 日本生化学会, 日本電信電話(株), 日本動物学会,
 日本農学会, 日本分子生物学会, 日本分析化学会, 日本薬学会, 化学情報協会, ICOT
- 申込締切** 1993年12月20日(月) 当日受付も歓迎しますが, 資料不足の際は事前登録者を優先します。
- 参加費** (資料代として) 共催学協会員 7,000円 学生 2,000円 一般 10,000円
- 懇親会費** 一律 3,000円
 ※当日出席できない方のために資料の郵送申込も受け付けております。
- 申込先** (社) 情報処理学会 情報学シンポジウム係
 〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27階
 Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

プログラム

第1日目 1月12日(水)

組織委員長挨拶 (9:00～9:10)

尾関 雅則 (日本学術会議情報学研究連絡委員会委員長)

セッション1 (招待講演1) (9:10～9:50)

座長: 細野 公男 (情報学シンポジウム'94 プログラム委員長, 慶大)

情報から見たマルチメディアと情報システム

藤原 譲 (筑波大)

休憩 (9:50～10:00)

セッション2 情報システムへの要件 (10:00～12:05)

座長: 尹 博道 (富士通)

情報システムの社会的条件

山崎 久道 (三菱総研)

マルチメディアを利用した新しい医療の可能性について

海野 一則 (メディカルデザイン)

マルチメディア材料データベースシステムKINDの構築と運用

川添 良幸, 大野かおる,

余 京智, 中名生 充, 秋山 庸子, 伊藤 敏行, 和田 繁男, 森 倫子 (東北大)

土偶資料情報化研究と歴史資料情報の諸問題

八重樫純樹 (国立歴史民俗博物館)

複数の情報メディアにおける同一の科学情報の伝達: その同一性と差異

武者小路澄子, 野添 篤毅 (情報大)

昼食 (12:05～13:00)

セッション3 (招待講演2) (13:00～14:20)

座長: 阿部 英次 (豊橋技科大)

現代における情報システムの役割

三森 定道 (日立)

メディアの融合の視点から見たインタラクティブメディア 金村 公一 (日本システム開発研究所)

休憩 (14:20～14:30)

セッション4 基盤的概念 (14:30～15:45)

座長: 有川 節夫 (九大)

「かたち」と「ことば」

島尾 新 (東京文化財研究所)

「史料」(歴史資料)と歴史的思考

永村 真 (日本女子大)

多様性情報処理機構としての自然システムの基礎 - 複雑適応システムの評価問題 -

米澤 保雄 (愛知技短大)

休憩 (15:45~15:55)

セッション5 モデリング, 自己組織化 (15:55~17:10)

座長: 中川 優 (NTT)

協調活動のフレームワークにおける自己組織化の考察

- 自己組織化を促進させるシステムモデルの提案 -

江谷 典子 (富士ゼロックス情報システム)

クラス定義空間の多重化機能を持つオブジェクト指向マルチメディアプラットフォーム

前畑 淳也, 碓崎 賢一 (九工大)

材料データシステムにおけるハイパーメディア化

岩田 修一, 河西 寛, 岩井 岳夫, 久保田晃弘 (東大)

第2日目 1月13日 (木)

セッション6 (招待講演3) (9:00~9:40)

座長: 八重樫純樹 (国立歴史民俗博物館)

芸術と工学

久保田晃弘 (東大)

休憩 (9:40~9:50)

セッション7 応用システム (9:50~11:55)

座長: 千村 浩靖 (NEC)

ハイパーフレームを用いた知的マルチメディアCAIの開発 富士 隆, 谷川 健, 星原健二郎,

藤井 誠, 小銭 正尚 (学習情報通信システム研究所), 三枝 武男 (北海道情報大)

図対話メディアとする発想支援システムD-ABDUCTOR 三末 和男, 杉山 公造 (富士通研)

マルチメディア・コンピュータ・テスト・システム 永岡 慶三 (神戸大)

パーソナルなデジタル映像制作システム「Video Power Tools」 飯島 泰裕 (富士通研)

CSCWフレームワークの開発と公共分野の企画調整業務への応用

長谷川 保, 沼上 英雄, 澤田 順夫, 阿久津正明, 村永 哲郎 (東芝)

昼食 (11:55~12:50)

セッション8 (招待講演4) (12:50~14:10)

座長: 石塚 英弘 (情報大)

マルチメディアと著作権 (仮題)

名和小太郎 (新潟大)

マルチメディア通信サービス

栗原 定見 (NTT)

休憩 (14:10~14:20)

セッション9 利用者インタフェース (14:20~15:35)

座長: 澤田 順夫 (東芝)

3次元オブジェクトの機能合成システム - 幾何情報を扱うための機能部品の提供 -

岡田 義広, 田中 譲 (北大)

フォーム・フロー・アーキテクチャ

- アクティブな書類を用いた企業システムの統合アーキテクチャー

中川 光紀, 田中 譲 (北大)

フレーム関係軸モデルに基づく情報群の自動組織化と視覚的ブラウジング

増田 佳弘, 植田 学, 石飛 康浩 (富士ゼロックス)

休憩 (15:35~15:45)

セッション10 基本方式, 処理技術 (15:45~17:00)

座長: 中谷多哉子 (富士ゼロックス情報システム)

Xウィンドウシステムのマルチメディア拡張

山本 英治, 碓崎 賢一 (九工大)

ADPCM 直接分割・結合方式の音声エディタへの適用

守屋 俊夫, 里山 元章, 米澤 恵, 柳 邦宏, 和歌森文男 (日立)

知的作業支援基盤としての映像データベース 有澤 博, 由井 仁, 富井 尚志 (横浜国大)

総括 (17:00~17:10)

田中 和明 (情報学シンポジウム'94 実行委員長, 日立)

「1994年情報学シンポジウム」
参加申込書

平成5年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○資料代（該当するものを○で囲む）

共催学協会員 7,000 円 一般 10,000 円 学生 2,000 円

○懇親会費（3,000 円）_____名

○資料のみ（上記資料代）_____冊

○送金方法（該当するものを○で囲む）

合計 _____ 円を

a) 当日、会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____ 月 _____ 日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で _____ 月 _____ 日送金します。

1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金人名義 _____ 様

* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 _____ 通, 見積書 _____ 通, 納品書 _____ 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

○申込先・送金先 (Fax. も可)

情報処理学会 シンポジウム係

〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27F

Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先〒 _____

機関・
部課名 _____

フリガナ
氏 名 _____

会員番号

殿 (_____)

Tel. _____ (ext. _____) Fax. _____

「ソフトウェアプロセス・シンポジウム」論文募集

ソフトウェア開発のプロセスを正しく把握し、生産性や品質を向上する重要な要素として、「ソフトウェアプロセス」があります。ソフトウェアプロセスの記述やモデル化の方法、定義されたソフトウェアプロセスから開発支援環境の生成など、いろいろな研究が大学や研究所、企業などで行われています。また、ソフトウェアプロセスに基づいて、開発形態の評価や選定を行う手法が国際標準となりつつあり、今後、ソフトウェア開発の現場に大きな影響を及ぼすものと思われます。

ソフトウェア工学研究会では、ソフトウェアプロセスの研究、応用のこのような現実を踏まえ、標記のシンポジウムの開催を計画いたしました。このシンポジウムでは、ソフトウェアプロセスについての研究や国際標準化の動向のサーベイ、事例発表などをおして、現状を認識するとともに、今後の課題やその将来像について討論を予定しています。下記の要領で、論文を募集いたします。奮ってご応募ください。

日 時 平成6年5月26日(木)～27日(金)
場 所 工学院大学(新宿区西新宿)
主 催 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会
協 賛 日本ソフトウェア科学会ソフトウェアプロセス研究会

テ ー マ 主なテーマは以下のとおりですが、必ずしもこれらに限りません。特に実際的な発表を歓迎いたします)

- ・ソフトウェアプロセスのモデル化と記述言語
- ・ソフトウェアプロセスに基づくソフトウェア開発環境
- ・ソフトウェアプロセスの定義と実際の開発現場への適用
- ・ソフトウェア品質保証の規格ISO9000-3 とその適用
- ・ソフトウェアプロセスの評価とその改善モデルCMM
- ・ソフトウェアライフサイクルのプロセスモデル

論文応募要領

1. 発表申込締切 平成6年1月10日(月)
論文発表ご希望の方は、アブストラクト(A4判用紙2枚)3部に通常の研究会発表申込書を添えてご提出ください。
2. 採否通知 平成6年2月18日(金)
3. カメラレディ原稿提出:平成6年4月18日(月)
和文または英文でA4判用紙10枚以内。

実行・プログラム委員

青山 幹雄(富士通)	佐伯 元司(東工大)	松浦佐江子(管理工学研究所)
鯉坂 恒夫(京大)	坪谷 英昭(NEC)	三ッ井欽一(日本IBM)
井上 克郎(阪大)	引地 信之(SRA)	望月 純夫(三菱スペース・ソフトウェア)
古宮 誠一(IPA)	堀田 勝美(NTT)	

連絡先・論文提出先

(社)情報処理学会 シンポジウム係
〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27階
Tel. (03) 5322-3535 Fax. (03) 5322-3534

ACM日本支部設立記念シンポジウム
IISF国際シンポジウム「コンピュータと人間の共生」開催について
(IISF/ACMJ International Symposium on Computers as Our Better Partners)

世界最大のコンピュータ関係学会であるACMの日本支部設立に際し、日本を代表する研究者と各分野を代表する外国の研究者による研究交流を行う。特に今回は「コンピュータと人間の共生」をテーマに、今後の重要課題の一つである障害者や高齢者の可能性を拡げるコンピュータ利用を中心に議論する。

日時 平成6年3月7日(月)～9日(水)
会場 国際連合大学 国際会議場 (東京都渋谷区神宮前5-53-70)
主催 IISF国際シンポジウム委員会、(財)情報科学国際交流財団
共催 Association for Computing Machinery (ACM) 日本支部
後援・協賛学会

情報処理学会、電子情報通信学会、計測自動制御学会、人工知能学会、
日本エム・イー学会、日本音響学会、日本音声言語医学会、日本神経心理学会、
日本ソフトウェア科学会、認知科学会、福祉システム研究会

シンポジウム課題

トラック I : 障害者とコンピュータ (同時通訳付)

障害者・高齢者が利用できる計算機、計算機の障害者・高齢者への利用、医療情報システム、
企業事例

トラック II : コンピュータ・サイエンス一般

グラフィックス、データベース、ソフトウェア、利用者インタフェース、計算機ネットワーク、
人工知能

講演者

外国招待講演者

Alan F. Newell (ダンディ大学) Gregg C. Vanderheiden (ウィスコンシン大学)
Jeff Ullman (スタンフォード大学) Gio Wiederhold (スタンフォード大学)
Adrian van Dam (ブラウン大学) Dines Bjorner (国連大学)
Adele Goldberg (ParcPlace Systems) Ephraim P. Glinert (ACM SIGCAPH会長)
金出武雄 (カーネギーメロン大学) L. Kalinichenko (ロシア科学アカデミー)
Barbara Liskov (MIT) Paul Messina (カリフォルニア工科大学)
Park Chan-Mo (韓国情報学会KISS会長) Peter Hammer (ラトガース大学)
Milan Hudecek (Robotron Pty.,Ltd.) David L. Jaffe (パロアルトメディカルセンター)
William Jolley (オーストラリア視覚障害者連盟長) Won Kim (UniSQL)
John G. Linvil (スタンフォード大学) Bryant W. York (ノースイースタン大学)
Fred Lochovsky (香港科学技術大学) M.Dick Schoech (テキサス大学)
Francis Chin (香港大学) Wen-Tsuen Chen (台湾精華大学)
C.K. Yuen (シンガポール国立大学)

日本人講演者 (50音順)

宇都宮敏男 (東京理科大学) 大須賀節雄 (東京大学) 太田茂 (川崎医療福祉大学)
大槻説乎 (九州工業大学) 小野欽司 (学術情報センター) 尾上守夫 (リコー)
開原成允 (東京大学) 釜江尚彦 (ヒューレット・パカード日本研究所) 國井利泰 (会津大学)
斎藤正男 (東京大学) 坂井利之 (龍谷大学) 坂村健 (東京大学) 鈴木則久 (日本IBM)
高野陸男 (NTTヒューマンインタフェース研究所) 長尾真 (京都大学) 渕一博 (東京大学)
三浦武雄 (日立製作所) 山内繁 (国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所)
山田尚勇 (学術情報センター)

組 織 組織委員会 委員長 桑原 守二 (NTT)
 実行委員会 委員長 山田 尚勇 (学術情報センター)
 副委員長 上林 彌彦 (京都大学) 太田 茂 (川崎医療福祉大学)

申込方法

下記参加申込書にご記入のうえ、事務局宛にご郵送ください (FAXも可)

参加登録費は該当金額を下記口座にお振り込み願います。なお、シンポジウム当日のお申し込みは現金のみ受け付けます。

参加登録費	(申込日が2月1日まで)	(2月2日以降)
後援・協賛学会会員	¥35,000	¥40,000
ACM会員、福祉団体会員	¥30,000	¥35,000
学生、大学院生	¥10,000	¥15,000
その他	¥45,000	¥50,000

振込先 : 富士銀行青山支店 口座名: IISF国際シンポジウム委員会

口座番号: 普通預金 2 2 8 5 1 1 4

なお、送金をご本人名義でお願いいたします。(振込手数料は自己負担)

連絡先 : IISF国際シンポジウム委員会事務局

〒107 東京都港区南青山5-10-5 九曜ビル903

(財)情報科学国際交流財団内

Tel. (03)5466-1761 Fax. (03)5466-1762 E-mail : iisf@is.s.u-tokyo.ac.jp

参加申込書

年 月 日

氏名 (和) _____ (英) _____

所属 (和) _____

(英) _____

住所 〒 _____

Tel : _____ (ex. _____) Fax : _____

E-mail : _____

参加登録 (登録費 : ¥ _____)

後援・協賛学会会員 (学会名) _____)

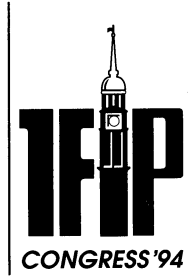
ACM会員 (会員No. _____) _____)

福祉団体会員 (団体名 _____) _____)

学生、大学院生 (大学名 _____) _____)

その他 _____)

振込日または予定日 : _____ 年 _____ 月 _____ 日 (済・予定)



13th World Computer Congress IFIP Congress '94



Computer and Communications Evolution
– The Driving Forces –



International Federation for
Information Processing (IFIP)

Hamburg, Germany
August 28 - September 2, 1994
CCH Hamburg

Gesellschaft für Informatik e.V.
on the Occasion of its
25th Anniversary

* * *

For further information please contact:

IFIP '94 - Conference Secretariat

c/o Congress Centrum Hamburg
Congress Organisation
P.O. Box 30 24 80
D-20308 Hamburg, Germany
tel: +49 40 /35 69 - 22 42
fax: +49 40 /35 69 - 23 43
telex: +212 609

Program Committee Chairman:

Dr. R. P. Uhlig
Northern Telecom Asia Pacific
P.O. Box 833858
Richardson, Texas 75083-3858
USA
tel: +1214 684 1287
fax: +1214 684 3787
e-mail: ruhlig@mcimail.com

Organizing Committee Chairman:

Prof. Dr. K. Kaiser
Regionales Rechenzentrum der
Universität Hamburg
Schlüterstraße 70
20146 Hamburg
Germany
tel: +49 40 4123 3092
fax: +49 40 4123 6270

13th World Computer Congress



Hamburg, Aug. 28 - Sept. 2, 1994

NEW DESIGN FOR IFIP CONGRESS '94

by Dr. Ron Uhlig (PC Chairman)

IFIP's 13th World Computer Congress is evolving with a new concept and fresh design. Under its title, **Computing and Communications Evolution: The Driving Forces**, this Congress, to be held in Hamburg, Germany, August 28-September 2, 1994, will present and discuss likely developments in information and communication technologies and their applications, impact, and foundations. Of even greater interest, interactions and feedback among these areas will be discussed in some depth, and **action agendas** for future progress will be presented to the computer and communications community in a message summarizing the findings of IFIP Congress '94.

In its first part, the Congress will offer technical discussions in 4 tracks on specific themes. On the first day, Monday, **Experts Day**, keynote speakers will present their views on The Impact of Investment Strategies on Computer and Communications Utilization, from the perspectives of national strategies in the U.S.A., Japan, and Europe, including the role of computers and communications in economic development and international relations. The tracks will begin later in the day with specific state-of-the-art presentations by experts in their fields. In approximately 25 meet-the-experts sessions, each participant will have 1 1/2 hours to meet with one expert for a small group discussion (a maximum of 50 persons per expert). On Tuesday and on Wednesday morning, **Specialist Days**, the tracks will continue with invited and submitted contributions. The 4 tracks (mostly with 2 parallel streams) are as follows:

- **Hardware, Software, and Communications Technology**
- **Computer and Communications Applications**
- **Impact (the role of computers and communications in solving major world problems)**
- **Foundations**
- **A special subtrack will be devoted to the role of information and communication technologies for developing countries.**

Linkages among Tracks

In an innovative design, the second part of Congress '94 will stimulate feedback among the tracks. On Wednesday afternoon and Thursday morning, Linkage Day, joint sessions between pairs of tracks will address serious questions/issues related to both areas. To generate interest and contributions for this unprecedented approach, the International Program Committee has formulated several stimulating key questions, to focus the feedback discussions:

- Link 1: **Technology <—> Applications**
What should we build?
How much application knowledge should a technologist have?
- Link 2: **Technology <—> Impact**
When virtual reality becomes real...
Utopia? or chaos? How should we control technology development?
- Link 3: **Technology <—> Foundations**
How much is safety worth?
Should we invest in intellectual elegance or computer power?
- Link 4: **Applications <—> Impact**
Who is in control: user? or application system?
Is application development focused on real problems?
- Link 5: **Developing Countries <—> Technology, Applications, and Impact**
Is technology transfer the answer?

On Thursday afternoon, every Congress participant will have the opportunity to participate in working groups that will develop preliminary action agendas for these nine questions/issues.

On Friday, **Message Day**, the preliminary action agendas developed by the working groups will be presented to all Congress participants in a plenary session. This will be the Congress Message to the Computer and Communications Community about desirable directions to be taken by individual professionals, industry, government, and the academic world. Work on some or all of the action agendas will continue after the Congress, by those who are interested, culminating in their publication as the **Congress '94 Message**.

The **deadline for submission of papers** is **January 14, 1994**. In addition to regular papers, there will be special sessions for informal presentations. The informal presentations may be in the form of posters, videos, or non-commercial demonstrations. **Deadline** for these **contributions** is **April 22, 1994**.

Other Activities

IFIP Congress '94 will offer much more, including a major exhibition, tutorials, a social program with an excursion Friday afternoon, programs for accompanying persons, as well as pre- and post-conference tours.

Many more details are available in the call for papers, which is available from the IFIP Secretariat, IFIP Member societies, and the Organising Committee.



論文募集

第 47 回 F I D 国際会議

1994年10月2~9日

テーマ *Finding New Values and Uses of Information*

国際情報ドキュメンテーション連盟 (International Federation for Information and Documentation: F I D) は自然科学、社会科学および人文科学など全ての分野でのドキュメンテーション、情報学、情報管理などの研究・開発をはかる国際機関で、隔年に国際会議を開いてきました。

この度 FID 創立100 周年を記念し、来年10月に東京で開催されることになりました。ハードウェア技術の進歩に比べ、ソフトウェアとくにデータベースの研究開発が立ち遅れている世界の趨勢の中にあって、21世紀を展望しながら標記のテーマを掲げての日本での国際会議に、全世界の科学者・研究者の大きな関心と期待が寄せられています。どうぞ奮って研究発表にご応募ください。

- 会議の名称：第47回国際情報ドキュメンテーション連盟総会国際会議
The 47th General Assembly of the International Federation for Information and Documentation
- 主催：日本学術会議 情報処理学会 情報科学技術協会 情報知識学会
後援 (予定)：文部省 通商産業省 科学技術庁 国立国会図書館
学術情報センター 日本科学技術情報センター
協賛 (予定)：化学情報協会ほか18学会
- 開催時期：1994年10月2日~10月9日 (8日間)
- 開催場所：大宮ソニックシティ (大宮市桜木町 1-7-5)
- 組織委員長 藤原鎮男 (東大名誉教授) 運営委員長 藤原 譲 (筑波大教授)

◎ 論文募集

プログラム委員長 細野公男 (慶大教授)

Subject

1. Fundamental Theory of Information
2. Information Science of Classification and Terminology
3. Development of New Media and Multi Media
4. Advanced Information Technology
5. Novel Paradigm of Information Systems
6. Business, Finance and Industrial Information
7. Information Transfer, Standard, Copy Right
8. Training and Education
9. Information Policy

スケジュール

論文メ切 1994年2月15日

著者への採否通知 4月15日

最終原稿提出メ切 6月15日

論文の記述方法

- ・ A4 またはレターサイズに英語でダブルスペースでタイプすること
- ・ 論文の長さは、演題等を含めて6~12ページとすること
- ・ 論文には演題、氏名、住所、電話番号を明記すること
- ・ オリジナル論文にコピー3部を添えること

論文の提出および問合わせ先

〒103 東京都中央区日本橋2-14-8 加商ビル

(株) アイシーエス企画

第47回 FID 国際会議

☎ 03(3272)7981 Fax 03(3273)2445

IEEE Computer Society Press Information

New Releases, Software, Networks and Order Form



CSプレスでは、情報処理学会の皆様へ新刊書を含む下記の各種チュートリアルを今回、CS会員価格で特別に提供致します。

注文用紙に記入のうえ、当事務所宛ご送付下さい。(FAXも受付けております) ご注文後1週間以内にお送り致します。ぜひ、この機会にご利用下さい。これらをご注文された方へはIEEE Computer Society Press 1994年度カタログを同封致します。

- * CSプレスでは — ● 最新国際会議のProceedings(今秋も含む)を取り揃えております。
- 1994年度CSプレスカatalogご希望の方は、お送り致しますので当事務所までお知らせ下さい。

CSプレスは、米国と同時発売ですので、積極にご利用下さい。

IEEE COMPUTER SOCIETY PRESS

COMPUTER-AIDED SOFTWARE ENGINEERING
2nd Edition (CASE),

edited by Elliot Chikofsky

Sections: CASE Environments and Tools: Overview, Role of Assistants and Expert System Technology in CASE, Evolution of Software Development Environment Concepts, Role of Prototyping in CASE, Role of Data Browsing Technology in CASE, Tailoring Environments (Extension, Meta-Specification, Generation), Issues of Evaluating Tools and Managing CASE.

184 pages. January 1993. Softcover. ISBN 0-8186-3590-8.
 Catalog No.3590-05 — 会員特価 ¥3,600

NEW! ADVANCES IN REAL-TIME SYSTEMS

edited by John A. Stankovic and Krithi Ramamritham

Sections: Introduction, Scheduling, Operating System Kernels, Programming Languages, Design and Analysis Techniques, Communication, Architecture and Fault Tolerance, Clock Synchronization, Databases, Artificial Intelligence, Bibliography.

SOFTWARE ENGINEERING
A European Perspective

edited by Richard H. Thayer
 and Andrew D. McGettrick

Sections: Background and Issues, Life Cycle Development Models/Processes, Requirements Analysis and Specifications, Software Design and Methodologies, High-Integrity Systems, Formal Methods, Software Project Management, Software Quality Management, Software Development Environments, Glossary of Terms, Software Engineering Standards.

696 pages. June 1993. Hardcover.
 ISBN 0-8186-9117-4. Catalog # 2117-01
 — 会員特価 ¥9,216

792 pages. October 1993. Hardcover.
 ISBN 0-8186-3792-7.
 Catalog No.3792-01 — 会員特価 ¥9,504

IEEE COMPUTER SOCIETY PRESS

SOFTWARE REENGINEERING **NEW!**

edited by Robert S. Arnold

Sections: Context and Definition, Business Process Reengineering, Strategies and Economics, Reengineering Experience and Evaluation, Technology for Reengineering, Data Reengineering and Migration, Source Code Analysis, Software Restructuring and Translation, Documenting Existing Programs, Reengineering for Reuse, Reverse Engineering and Design Recovery, Object Recovery, Knowledge-Based Program Analysis.

*688 pages. April 1993. Hardcover. ISBN 0-8186-3272-0.
Catalog No.3272-01 — 会員特価 ¥9,216*

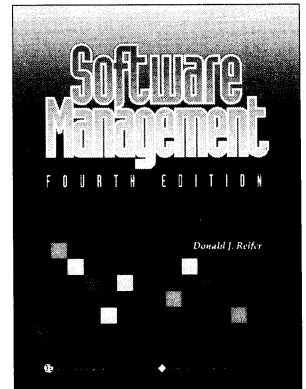


SOFTWARE MANAGEMENT, 4TH EDITION **NEW!**

edited by Donald J. Reifer

Sections: Software Process, Project Management, Planning Fundamentals, Organizing for Success, Staffing Essentials, Direction Advice, Visibility and Control, Risk Management, Metrics and Measurement, Software Engineering Technology Transfer, Support Material.

*664 pages. April 1993. Hardcover. ISBN 0-8186-3342-5.
Catalog No.3342-01 — 会員特価 ¥9,216*

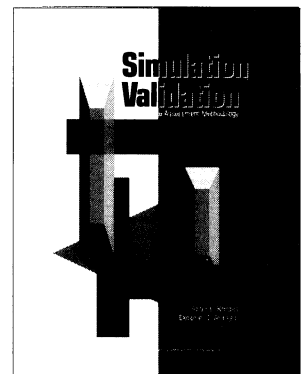


SIMULATION VALIDATION: A Confidence Assessment Methodology

by Peter L. Knepell and Dedorah C. Arangno

Sections: Introduction, Foundations, Assessment Activities, A Guide to Formal Assessments, A Guide to Limited and Maintenance Assessment, Man-In-The-Loop Models, Hardware-In-The-Loop Models, Assessment Aids, Glossary.

*168 pages. May 1993. Hardcover. ISBN 0-8186-3512-6.
Catalog # 3512-04 — 会員特価 ¥4,320*



IEEE COMPUTER SOCIETY PRESS

READINGS IN REAL-TIME SYSTEMS NEW!

edited by Yann-Hang Lee and C. M. Krishna

Sections: **Hard Real-Time Architectures, Real-Time Operating Systems, Real-Time Software, Real-Time Databases, Performance Modeling.**

256 pages. July 1993. Hardcover.

ISBN 0-8186-2997-5.

Catalog No.2997-01 — 会員特価 ¥5,184

NETWORK MANAGEMENT NEW!

edited by William Stallings

Sections: **Network Management Technology, Management Information, Simple Network Management Protocol (SNMP), OSISystems Management, Glossary, Annotated Bibliography.**

368 pages. September 1993. Hardcover.

ISBN 0-8186-4142-8. Catalog No.4142-01

— 会員特価 ¥5,616

ORDER FORM

氏名 _____

支払い方法: VISA M/C AMEX

会社/団体名 _____

カード番号 _____

住所 _____

カード名義人名 _____ 有効日 _____

請求書希望 現金書留

〒

IPSJ 会員番号: _____

TEL/FAX /

IPSJ-93

3590-05	Computer-Aided Software Engineering, 2nd Ed	¥3,600	
2117-01	Software Engineering: A European Perspective	¥9,216	
3792-01	Advances in Real-Time Systems	¥9,504	
3272-01	Software Reengineering	¥9,216	
3342-01	Software Management, 4th Edition	¥9,216	
3512-04	Simulation Validation: A Confidence Assessment Meth.	¥4,320	
2997-01	Readings in Real-Time Systems	¥5,184	
4142-01	Network Management	¥5,616	

注文書送付先: 〒107 東京都港区南青山2-19-1 大島ビル

IEEEコンピュータソサイエティ

Phone: 03-3408-3118

FAX: 03-3408-3553

E-Mail Address: tokyo.ofc@compmail.com

小計: _____

15%取扱い手数料: _____

消費税: _____

合計金額: _____

日本学術会議第16期会員の候補者推薦について

日本学術会議会員は、各学会が推薦した候補者のうちから選定されます(4月号 p.1993 日本学術会議だより欄参照)。

つきましては、下記要領により、会員の候補者として適切な方のご推薦をお願いいたします。

なお、ご推薦いただいた候補者につきましては、理事会で選定のうえ、本会の会員候補者として日本学術会議に推薦します。

記

1. 日本学術会議法による学術会議会員の候補者の資格等

(1) 日本学術会議会員は、

- その専門とする科学または技術の分野において5年以上の研究歴を有し、当該分野における優れた研究または業績がある科学者でなければならない。
- 通じて9年を超えて在任することができない。ただし、任期の途中において9年に達したときは、その任期の終了するまでの間、在任することができる。
- 日本国籍を有しないものは、会員になれない。

(2) 日本学術会議会員候補者は、

- 登録学術研究団体が、その構成員である科学者のうちから選定する。
(本会は登録学術研究団体)

2. 推薦者の資格

本会正会員に限る。

3. 推薦候補者数

情報工学(第5部)、情報学(第4部)、電子・通信工学(第5部)について、本会正会員の中から各1名以内。

4. 推薦方法

下記の推薦用紙に所定の事項を記入し、本会事務局長あてに郵送すること。

5. 推薦締切日 平成5年11月30日(火)

き り と り

第16期日本学術会議会員の候補者推薦用紙

候補者氏名 (所属機関・職名)	情報工学(第5部)	
	情報学(第4部)	
	電子・通信工学(第5部)	
推薦者 住所・氏名 (連絡先電話番号)	正会員	

アジア学術会議 11月に開催

平成 5 年10月 日本学術会議広報委員会

今回の日本学術会議だよりでは、アジア学術会議、本年 6 月に閣議了解を得ました平成 6 年度日本学術会議共同主催国際会議の概要及び日本学術会議が本年度において実施する地域活性化施策推進事業等についてお知らせします。

アジア学術会議について

- 1 日本学術会議は、アジア地域の各国を代表する科学者を東京に招き、本年11月15日(月)から18日(木)までの4日間、アジア学術会議を開催します。
- 2 アジア地域との学術分野における交流の重要性については、「学術分野における国際貢献についての基本的提言」(平成5年4月、日本学術会議第116回総会採択)においても指摘されたところですが(「日本学術会議だより」(No.29)参照)、地理的、歴史的、文化的に多くの共通点を持つ近隣諸国間の交流は、それぞれの国の学術の発展、ひいてはその地域全体の学術の発展にとって極めて重要なことでもあります。
- 3 このアジア学術会議は、特定分野に限らない全学問領域にわたるアジア地域の科学者による連携・協力のための初の国際会議であり、その意義は極めて大きく、日本学術会議では、会議の成果をあげるため、既に本年4月、アジア学術会議実行委員会(委員長:渡邊格・日本学術会議副会長、副委員長:川田侃・同副会長)を設置し、関係学協会の御協力の下、開催に向け、鋭意、準備を進めているところです。

会議の概要は以下のとおりです。

- (1) 主催
日本学術会議
- (2) 日程
11月15日(月)開会式(基調講演、特別講演等)
歓迎レセプション
16日(火)会議(自由討議)
17日(水)視察(筑波研究学園都市)
18日(木)会議(自由討議)、閉会式
- (3) 会場
三田共用会議所
[東京都港区三田2-1-8]
[電話 03-3455-7591]
- (4) 参加者
インド、インドネシア、シンガポール、タイ、大韓民国、中華人民共和国、日本、フィリピン、マレーシアの各国の学術推進機関(アカデミー等)から推薦された人文・社会科学系及び自然科学系の科学者 21名

(日本からは、近藤次郎日本学術会議会長及び川田侃同副会長が出席の予定)

(5) 議題

「アジア地域における学術の発展とそのための連携・協力について」

平成 5 年度地域活性化施策推進事業の実施について — 地域の過去、現在、未来を探る —

東京一極集中を是正し、国土の均衡ある発展を図るため、地域を活性化することの必要性が叫ばれています。この中で、地域において、情報発信能力を高め、産業技術の進歩、暮らしの質的向上を促す総合的な学術研究の力の向上は、「豊かな国民生活」を実現するために不可欠のことであり、また、国際的に開かれた地域を形成するためにも有効なことから考えられます。このため、日本学術会議では、本年度において、国土庁の地域活性化施策推進費を活用して、全国3か所での地域における産学官の協力による公開フォーラムの実施とその報告書作成を柱とする「ふるさと学会」開催事業を実施することとしました。

本事業は、地域を対象とする学術研究の成果を人文、社会、自然科学を網羅して総合的に取りまとめ、その地域の過去の歴史、現在の状態、将来の予想を明らかにし、地域のアイデンティティーと将来像を考える一助とするとともに、この過程において、地域の産学官の連携や学術研究者と地域住民の交流をも促進することを狙いとするモデル事業と位置づけています。

平成 6 年度に開催する日本学術会議 共同主催国際会議

日本学術会議は、昭和28年9月の国際理論物理学会議の開催以来、平成5年度までに135件の国際会議を関係の学術研究団体と共同して開催し、我が国のみならず世界の学術水準の向上に努めてきたところです。

平成6年度においても、次表の6会議を共同主催することとし、本年6月25日、これらの国際会議の開催とこれについて所要の措置を講ずる旨の閣議了解を得ました。

また、本年は、平成8年(1996年)度開催分の国際会議について共同主催の申請を受け付けており、締切りは12月10日です。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局学術部情報国際課国際会議係
電話03-3403-6291(内) 254, 255

平成6年(1994年)度日本学術会議・国内学術研究団体共同主催国際会議概要

会 議 名	第8回国際神経・筋学会	第24回国際園芸学会議	第30回錯体化学国際会議
母 体 機 関	世界神経連合	国際園芸学会	国際純正・応用化学連合
共 催 団 体	日本神経学会	園芸学会	(社)日本化学会 錯体化学研究会
参加予定人数 参加予定国数	国外 1,100人 国内 800人 計 1,900人〔41か国・2地域〕	国外 1,000人 国内 750人 計 1,750人〔88か国・2地域〕	国外 300人 国内 700人 計 1,000人〔46か国・2地域〕
開 催 時 期	7月10日～15日(6日間)	8月21日～27日(7日間)	7月24日～29日(6日間)
開 催 場 所	京都市(国立京都国際会館)	京都市(国立京都国際会館)	京都市(国立京都国際会館)
開 催 間 隔	4年ごと	4年ごと	1ないし2年ごと
組織委員会 委員長	国立精神・神経センター 名誉総長 里 吉 栄二郎	東京農業大学農学部 教授 岩 田 正 利	(準備委員会代表者)立命館大学理工学部 教授 大 瀧 仁 志

会 議 名	第21回世界心電学会	第47回国際情報ドキュメンテーション連盟総会	第2回国際病態生理学会総会
母 体 機 関	世界心電学会	国際情報ドキュメンテーション連盟	国際病態生理学会
共 催 団 体	日本心電学会 (財)日本心臓財団	(社)情報処理学会 (社)情報科学技術協会 情報知識学会	日本病態生理学会
参加予定人数 参加予定国数	国外 500人 国内 1,000人 計 1,500人〔30か国〕	国外 400人 国内 800人 計 1,200人〔55か国・1地域〕	国外 500人 国内 800人 計 1,300人〔62か国・2地域〕
開 催 時 期	7月3日～7日(5日間)	10月2日～9日(8日間)	11月19日～24日(6日間)
開 催 場 所	横浜市(横浜国際平和会議場)	大宮市(大宮ソニックシティ)	京都市(国立京都国際会館)
開 催 間 隔	毎年	2年ごと	4年ごと
組織委員会 委員長	国立療養所中野病院 病院長 春 見 建 一	国文学研究資料館 客員教授 藤 原 鎮 男	日本臓器製薬株式会社生物活性科学研究所 所 長 大 村 裕

日本学術会議主催公開講演会

—— 女性科学研究者に期待する ——

日本学術会議は、学術の成果を国民に直接還元するための活動として、日本学術会議会員が講師となって、市民を対象に年3回公開講演会を開催しています。

この度、次の公開講演会を開催しますので、お知らせします。多数の方々の御来場をお待ちしています。

- (1) 日 時 平成5年11月26日(金) 13:00～16:30
- (2) 会 場 日本学術会議講堂
(地下鉄千代田線「乃木坂駅」下車徒歩1分)
- (3) テーマ 「女性科学研究者に期待する」

- (4) 演題及び演者
 - ・女性科学研究者問題に関する日本学術会議の取組
須藤 一(第5部会員, 東北学院大学工学部教授)
 - ・女性学ジェンダー論の発展と役割
加藤春恵子(第1部会員, 東京女子大学現代文化学部教授)
 - ・自然科学分野に見られる女性進出とこれに伴う諸問題
本 間 慎(第6部会員, 東京農工大学農学部教授)

・女性科学研究者の地位向上と基盤整備(スウェーデンを例として)

一番ヶ瀬康子(第1部会員, 日本女子大学人間社会学部長)

〔申込方法〕

聴講(入場無料)を希望される方は、はがきに、郵便番号、住所、氏名を明記し、11月12日までに下記までお申し込みください(複数人の連記可、FAX送付可)。締切り後も、席に余裕があれば、受け付けますので、下記までお問い合わせください。

〒106 東京都港区六本木7-22-34
日本学術会議事務局「公開講演会係」
TEL 03-3403-6291(代) 内線228
FAX 03-3403-6224

「日本学術会議だより」について御意見・お問い合わせ等がありましたら、下記までお寄せください。

〒106 東京都港区六本木7-22-34
日本学術会議広報委員会 電話03(3403)6291

学術情報センター情報検索サービスの範囲拡大について

学術情報センターは文部省の大学共同利用機関として設置され、大学等の教員の学術研究支援として情報検索サービスおよび電子メールサービスなどを行っていますが、このほど大学等以外の研究者に対しても利用を認めることとなり、情報処理学会の正会員も従来の学会発表データベースのほか、多くのデータベースの検索および電子メールを利用できることとなりました。このサービスを受けるためには学会正会員であることの証明、および学術情報センターの利用許可などの手続きが必要となりますので、下記をご参照のうえ、ご利用されることをお勧めします。

記

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|--------|-------------------------------------|-------|--------------|----------------------------|--------|--|------------------------------|--------|--|-------------------|--------|--|----------------------|--|--|----------------------|--------|-------|-------------|--|
| I. 利用資格 | 当学会の正会員。ただし、国公私立大学・短大・高専等の職員、大学院生あるいは国公立の研究機関職員等はそれぞれの機関を通して申請することとなりますので詳しくは所属機関の窓口にご照会ください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| II. 利用手続き | 学術情報センターシステム利用申請書および記入要領等を学術情報センターより入手し、必要事項を記入、当学会で正会員であることの証明を受けたうえ、学術情報センターへ提出する。利用期限は当年度内のみで、年度更新ごとに改めて申請することになっています。利用申請書は当学会にもあります。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| III. 利用料金 | <table border="0"> <tr> <td>情報検索</td> <td>(利用できるデータベースのうち*以外のもの)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接続料 (各データベースに接続している時間に対して)</td> <td>50円 /分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ヒット料 (検索された情報を端末に出力した件数に対して)</td> <td>13円 /件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ファクシミリに出力した枚数に対して</td> <td>34円 /枚</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(利用できるデータベースのうち*のもの)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>接続料 (各データベースを呼び出すつど)</td> <td>30円 /回</td> </tr> <tr> <td>電子メール</td> <td>当分の間無料 (国内)</td> <td></td> </tr> </table> <p>(利用料金には消費税が含まれておりません)</p> | 情報検索 | (利用できるデータベースのうち*以外のもの) | | | 接続料 (各データベースに接続している時間に対して) | 50円 /分 | | ヒット料 (検索された情報を端末に出力した件数に対して) | 13円 /件 | | ファクシミリに出力した枚数に対して | 34円 /枚 | | (利用できるデータベースのうち*のもの) | | | 接続料 (各データベースを呼び出すつど) | 30円 /回 | 電子メール | 当分の間無料 (国内) | |
| 情報検索 | (利用できるデータベースのうち*以外のもの) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 接続料 (各データベースに接続している時間に対して) | 50円 /分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ヒット料 (検索された情報を端末に出力した件数に対して) | 13円 /件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ファクシミリに出力した枚数に対して | 34円 /枚 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (利用できるデータベースのうち*のもの) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 接続料 (各データベースを呼び出すつど) | 30円 /回 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電子メール | 当分の間無料 (国内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| IV. 利用時間 | <table border="0"> <tr> <td>情報検索</td> <td>月曜日～金曜日 9:00～翌日 2:00 土曜日 9:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>電子メール</td> <td>1日24時間通年サービス</td> </tr> </table> | 情報検索 | 月曜日～金曜日 9:00～翌日 2:00 土曜日 9:00～14:00 | 電子メール | 1日24時間通年サービス | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 情報検索 | 月曜日～金曜日 9:00～翌日 2:00 土曜日 9:00～14:00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電子メール | 1日24時間通年サービス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| V. 問合せ先 | 学術情報センター管理部共同利用課共同利用第二係
Tel. (03)3942-6934 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| VI. 利用申請書送付先 | 〒112 東京都文京区大塚3-29-1
学術情報センター管理部共同利用課共同利用第一係 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| VII. 学会窓口 | 〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1
(社) 情報処理学会 研究会係または全国大会係
Tel. (03)5322-3535
e-mail: nakada@ipsj.or.jp, または simanuki@ipsj.or.jp | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

利用できるデータベース

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 科学研究費補助金研究成果概要データベース | 13. 研究者ディレクトリ |
| 2. 学位論文索引データベース | 14. *データベース・ディレクトリ |
| 3. 学会発表データベース | 15. *家政学文献索引データベース |
| 4. 学術論文データベース第一系 (電子) | 16. * RAMBIOS |
| 5. 学術論文データベース第二系 (化学) | 17. *化学センサーデータベース |
| 6. 学術論文データベース第五系 (理学) | 18. *目録所在情報データベース (和図書) |
| 7. 海外研究プロジェクトデータベース | 19. *目録所在情報データベース (洋図書) |
| 8. 民間助成研究成果概要データベース | 20. *目録所在情報データベース (和雑誌) |
| 9. 経済学文献索引データベース | 21. *目録所在情報データベース (洋雑誌) |
| 10. 学会予稿集電子ファイル | 22. *アメリカン・センター図書館総合目録データベース |
| 11. *維新史料綱要データベース | 23. *学術関係会議等開催情報 (日本学術会議編) |
| 12. *木簡データベース | 24. *学協会集会スケジュール (日本工学会編) |

書評・文献紹介・ニュース募集のお知らせ

情報処理学会文献ニュース小委員会では、学会誌「情報処理」に掲載する書評、文献紹介、およびニュースを広く会員の皆さまから募集します。

1. 募集対象

つぎの3種類の記事について、原稿を募集します。

- a) 書評 過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- b) 文献紹介 過去1年間に発表された、本学会員にとって有益な海外文献の概要紹介。
- c) ニュース 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。

3. 応募の手続き

原稿は、本会所定の原稿用紙か、ワープロ等を用いる場合はA4判の用紙に22字×44行の字詰めで書いて、下記応募先あてにお送りください。

1) 表題

書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBN、を書く。

文献紹介は、著者名、表題（およびその和訳）、雑誌名、巻、号、ページ、発行年を書く。

ニュースの場合は、見出しを書く。

書評、文献紹介、ニュースの別を左肩に書く。

2) 筆者名・所属・筆者連絡先

連絡先（住所、Tel、e-mail等）の記載を忘れずに。

3) 本文

書評、文献紹介は1900字以内で、ニュースは1000字以内で書く。

4) (必要であれば) 参考文献、付録、図、表

5) 筆者の自己紹介

氏名、会員の種別、経歴などを書く。(投稿時に写真は不要)

詳しくは「情報処理学会機関誌原稿執筆案内」(1993年1月号掲載)を参照してください。

4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は文献ニュース小委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。書評の場合は評者の写真を掲載しますので、掲載決定後に写真を送っていただくことになります。

5. 問合せ・応募先

原稿用紙の購入先、原稿の送付先、および問合せ先は次のとおりです。

(社)情報処理学会 文献ニュース小委員会係

〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27F

Tel. (03)5322-3535 Fax. (03)5322-3534 e-mail:matumoto@ipsj.or.jp

会員種別の改定とそれにもなう定款改定について

現行の定款では、「学生会員は大学学部および大学院修士課程または之に準ずる学校の在學生とする。」とされており、博士課程の学生は正会員として取り扱っております。これに対し、かねてよりいくつかの大学から学生会員として取り扱ってほしいとの強い要望がありました。そこで、去る5月の通常総会に定款改定を提案し承認を得て、文部省に申請したところ、認可されましたのでお知らせします。

つきましては、大学院博士課程（博士後期課程）に在学中の会員は、平成6年度から学生会員として取り扱い、会費年額が9,600円から4,800円に変更されます。該当する会員で博士課程在学中の届をしていない方、および現在修士課程（博士前期課程）在学中で平成6年度に博士課程進学決定の方は、学会誌偶数月号巻末添付の変更連絡届（学歴Ⅲ）により会員係あて早急にご連絡ください。

現在の定款	変更後の定款
<p>第6条（4） 学生会員は、大学学部、大学院修士課程又は之に準ずる学校の在學生とする。</p>	<p>第6条（4） 学生会員は、大学学部および大学院修士課程および博士課程またはこれに準ずる学校の在學生とする。</p> <p>付則（追加） （4）第6条の会員の種別（4）は、平成6年度から適用する。</p>

平成5年度会費，論文誌購読費の納入について

本年度の会費および購読費未納の方には、11月中旬に郵便振替用紙を発送いたします。会費および購読費は前納を原則としており、すでに多くの方々にはご納入いただいております。会費納入の督促は、手数や郵便料がかさみ大きな負担となっておりますので、まだ未納の方は早急にご納入くださいますようお願いいたします。

〔自動振替納入利用の方へ〕

すでに個別にご連絡いたしました但、去る7月27日の振替日に残高不足等で振替未済の方は、郵便振替または銀行振込等により、早急に別途ご納入ください。

自動振替納入中止のご連絡は、事務局会員係までお願いいたします。

なお、振替口座を変更される方は、本号巻末に「預金口座振替依頼書」を添付いたしましたのでご利用ください。平成6年度会費から自動振替を希望する正会員（一括扱いの会員は除く）の方は、本用紙によりお申込みください。

会費・購読費の預金口座自動振替をぜひご利用ください

希望される正会員（学生会員は対象としません）は、下記記載事項をご了承のうえ預金口座振替依頼書に必要事項をご記入いただき、お申込みくださるようお願いいたします。

なお、新入会時の初回の入会金・会費・購読費にはご利用できませんが、翌年度会費・購読費から取扱いますので、入会手続きの際に同時にお申込みください。

記

1. 対象会員：正会員（一括扱い会員は除く）
2. 対象金融機関：都市銀行，地方銀行，信託銀行，長期信用銀行，信用金庫，労働金庫（信用組合，郵便局，農協は除きます）
3. 口座振替費目：正会員費・論文誌購読費
4. 振替日：3月，または7月の27日（休日の場合は翌営業日）に年額を振替させていただきます。
5. 依頼書の記入要領
 - (1) 会員番号：契約者番号欄に正しく7桁を必ずご記入ください（会員番号は学会誌等送付用封筒の宛名ラベルに記載してあります。ご不明な場合は下記までお問合せください）。
 - (2) 口座名義人：預金通帳の名義人です。フリガナもご記入ください。
 - (3) 銀行への：必ず預金通帳とご照合のうえ，鮮明にご捺印ください。また，捨印を必ずご捺印ください。お届け印
 - (4) 会員氏名：預金者が会員と異なる場合にのみ，会員の氏名（フリガナ）を記入，ご捺印ください。
 - (5) 指定口座：金融機関名，支店名，店番号，種目（普通・当座），口座番号等は，必ず預金通帳にてご確認のうえご記入ください。
6. 預金通帳の摘要欄：「ダイヤモンドファクター」，「コウザフリカエ」または「DF・ジョウショカイヒ」と印字されます。
7. 申込み，問合せ先：情報処理学会事務局 会員係
〒160 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル27F
Tel.(03) 5322-3535

預金口座振替依頼書

銀行
信用金庫 御中
協同組合

平成 年 月 日

収納代行会社名：ダイヤモンドファクター株式会社

委託者名等：社団法人 情報処理学会

料金等の種類：会費・購読費等

委託者
番号

契約者
番号

ご指定口座（記入要領によりご記入ください）

(左つめで記入し、濁点、半濁点は1字分に扱ってください。なお個人名義の場合、姓と名の間は1字分空けてください)

フリガナ

口座名義人 印 銀行へのお届け印

会員氏名（フリガナのみ記入、会員と口座名義が違う場合のみご記入ください）

指定 口座	銀行 信用金庫 協同組合		本店 支店
	銀行番号 <input type="text"/>	店番号 <input type="text"/>	口座番号 <input type="text"/>

1. 普通預金
2. 当座預金

振替日 収納企業の指定する日 (銀行休業日の場合は翌営業日)

私は上記の料金等を預金口座振替の方法により収納代行会社ダイヤモンドファクター株式会社を通じて支払うこととしましたので、下記事項を承認のうえ上記口座からの振替を依頼します。



記

- ダイヤモンドファクター(株)より貴行（金庫・組合）に請求書が送付されたときは、振替日に私あてに通知することなく、請求書記載金額を預金口座から引落しのうえお支払ください。この場合、預金規定または当座勘定規定にかかわらず、預金通帳・同払戻請求書の提出または小切手の提出はしません。
- 振替日において、請求書記載金額が預金口座から払い戻すことのできる金額をこえるときは、私に通知するとなく請求書を返却されても差し支えありません。
- この預金口座振替契約は貴行（金庫・組合）が必要と認めた場合は私に通知することなく解約されても異義ありません。
- この預金口座振替についてかりに疑義が生じても、貴行（金庫・組合）の責によるものを除き、貴行（金庫・組合）にはご迷惑をかけません。

金融機関使用欄

口座振替依頼書に不備がございましたら下記へご返却ください。

返却理由	1. 預金取引なし	3. 印鑑相違
	2. 記載事項等相違	4. その他
	(店名, 預金種目)	()
	(口座番号,)	()
	(口座名義)	()

	照 合	受 付

〒102 東京都千代田区九段南4-7-15 健和ビル
ダイヤモンドファクター株式会社 ワイドネット事業本部

会 告

海外からの送金方法について

海外からの会費、論文誌購読費、各種行事参加費、各種図書購入費等については、円またはドルの銀行小切手により送金されていますが、次のような問題があります。

1. 銀行小切手作成の手間がかかる。
2. ドル送金の場合には為替相場の変動により、常に過不足を生じ、経理上支障がある。
3. 円またはドルに拘らず、1,500～2,500円の換金手数料をとられる。

この点を改善するため、海外からは「VISA」「Master Card」「American Express」および「Diner's Club」により円建てで送金できるようにしました。なお、申込書様式は次のとおりとしますが、A4判用紙を用い必ず郵送してください(Faxは不可)。

If you wish to pay with your credit card, please fill in the following form and mail it back to :

INFORMATION PROCESSING SOCIETY OF JAPAN
 STEC JOHO Bldg., 1-24-1 Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku
 Tokyo 160, Japan
 Phone: 81-3-5322-3535

I wish to pay with my credit card.

Circle one: Master Card VISA American Express Diner's Club

- (1) Card number _____
- (2) Expiry date _____ / _____
- (3) Full name of holder as it appears on the card _____
- (4) Amount _____ Japanese Yen
- (5) Details (annual fees, journal, etc.) _____

- (6) Mailing address _____

(Country) _____

Phone _____

Fax _____

Date _____

Signature _____

Note: The fees can also be paid by cash or by bank draft. In the case of bank draft, please add the handling charge ¥1,500 to the total amount. We cannot accept personal check.

Remit to: Information Processing Society of Japan

Bank account no. 062-2049562

Shinjuku-Nishiguchi Branch, The DAI-ICHI-KANGYO BANK, LTD.

本 会 協 賛 等 の 行 事 案 内*

<国内会議>

- 第14回全日本マイクロマウス大会
平成5年11月27日(土)～28日(日) 東京・科学技術館
- 第52回産業用ロボット利用技術講習会
平成5年12月2日(木)～3日(金) 東京・電機工業会館
平成5年12月9日(木)～10日(金) 大阪社会福祉指導センター
- 人工生命科学特選講座・人工生命と自律ロボット
平成5年12月6日(月) 大阪・千里ライフサイエンスセンター
- 「交通・物流におけるGPS利用」講習会
平成5年12月6日(月) 川崎市産業振興会館
- 第2回交通・物流部門大会
平成5年12月6日(月)～9日(木) 川崎市産業振興会館
- 先端技術フォーラム「21世紀の情報社会を拓くコンピュータ・テクノロジー」
平成5年12月10日(金) 東京・三田出版会
- 1994年情報学シンポジウム
平成6年1月12日(水)～13日(木) 東京・日本学会会議講堂
- 第23回人工知能セミナー
平成6年1月26日(水) 日本ユニシス中部支社
- 人間と共存するロボットに関するシンポジウム
平成6年4月22日(金) 東京ガス本社
- '94 新素材展
平成6年5月17日(火)～20日(金) 千葉・幕張メッセ
- 第13回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス
平成6年6月22日(水)～23日(木) 東京・成蹊大学
- 平成6年電気学会産業応用部門全国大会
平成6年8月24日(水)～26日(金) 愛媛大学

<国際会議>

- Asia Pacific Year'94
1994年4月20日(水) 東京・機械振興会館
- 第5回IEEE COMSOCワークショップ「マルチメディア'94」
1994年5月17日(火)～19日(木) 京都パークホテル
- 第2回メカトロニクスに関する国際会議
1994年11月1日(火)～3日(木) サンメッセ香川

*詳細は本号会議案内欄参照

支部だより

北陸支部 講演会

日時 平成5年12月3日(金) 14:00~16:00
会場 NEC ソフトウェア北陸 MRI~II (石川県石川郡鶴来町安養寺1)
演題 ネットワーク管理の国際標準化動向 勅使河原 可海 (NEC)
参加費 無料 (参加資格は問いません)
問合せ先 〒920 石川県金沢市小立野2-40-20 金沢大学工学部電気・情報工学科内
情報処理学会 北陸支部事務局 Tel.(0762)61-2101(ext.332)

講演会

日時 平成5年12月8日(水) 14:40~16:10
会場 金沢工業大学 5号館 5・101教室
演題 ペトリネットの入門と解析手法の動向 村田 忠夫 (阪大/イリノイ大)
参加費 無料 (参加資格は問いません)

東海支部 講演会

日時 平成5年11月19日(金) 15:00~16:40
会場 静岡大学工学部附属図書館浜松分館2階 視聴覚室
演題 自動翻訳電話ー夢と現実と将来 嵯峨山 茂樹 (NTT)
参加費 無料 (参加資格は問いません)
問合せ先 〒432 浜松市城北3-5-1 静岡大学工学部電子工学科 鈴木久喜
Tel.(053)471-1171(ext.347)

講演会

日時 平成5年12月7日(火) 13:30~16:00
会場 名古屋大学工学部情報工学科 8号館北館 102教室
演題 HIとしての画像理解・生成技術の動向 黒沢 由明 (東芝)
参加費 無料 (参加資格は問いません)
問合せ先 〒464-01 名古屋市中千種区不老町 名古屋大学工学部情報工学科 渡辺豊英
Tel.(052)781-5111(ext.5802)

関西支部 支部設立30周年記念支部大会

日時 平成5年11月23日(火) 12:50~19:00 (17:00~ 記念パーティー)
会場 京都リサーチパーク サイエンスホール (京都市下京区中堂寺南町17 京都リサーチパーク内 サイエンスセンタービル4F Tel.(075)322-7800)
プログラム 12:50~13:00 開会の辞 松本吉弘 関西支部長
13:00~15:30 パネルディスカッション「パソコンの現状と展望」
司会 松本吉弘 (京大)
パネラー 石田晴久 (東大) 高山 由 (NEC)
脇 英世 (東京電機大) 成毛 真 (マイクロソフト)
16:00~17:00 記念式典
17:00~19:00 記念パーティー
参加費 会員無料 (一般3,000円), ただし, 別途パーティー費5,000円
問合せ先 〒530 大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階 (財)関西情報センター内情報処理学会
関西支部 Tel.(06)346-2543

超並列処理のソフトウェア技術—並列プログラム開発環境と使用経験—

- 日時** 平成5年11月25日(木) 9:30~17:40
- 会場** NTT情報文化センター ホール(大阪市北区堂島3-1-21 NTT堂島ビル Tel.(06)347-7011)
- プログラム** 9:30~10:30 1.並列処理基本ソフトウェアの動向と展望 石川 裕(新情報処理開発機構)
- 10:30~11:20 2.多種のマシンで使える並列ソフトウェア開発ツールと使用経験
(1)市販のソフトウェア・ツール Parallelware(ParaSoft Express)
—Parallelwareによる並列プログラムの開発と性能評価—
今若恒幸(新日本製鐵)
- 11:20~12:10 (2)パブリック・ドメインのソフトウェア・ツール P4
—並列プロセスの生成と通信・同期ライブラリー—
松田秀雄(神戸大)
- 13:10~14:00 3.並列マシンのプログラム開発環境と使用経験
—言語/OS/プログラム開発ツール/性能解析ツール/使用例—
(1)POWER 並列システム1のプログラム開発環境
霜田善道(日本アイ・ピー・エム)
- 14:00~14:50 (2)CM-5のプログラム開発環境と使用例
松橋博人(日本シンキング・マシンズ)
- 15:10~16:00 (3)Parsytec GCのプログラム開発環境 平尾延夫(松下インターテクノ)
- 16:00~16:50 (4)並列推論マシン(第五世代コンピュータ・プロトタイプ)のプログラム開発環境
と使用経験 中尾浩一(応用技術)
- 16:50~17:40 (5)高並列計算機 AP 1000の並列ソフトウェア開発環境 池坂守夫(富士通研)
- 参加費** 会員10,300円, 非会員11,330円, 学生会員5,150円
- 問合せ先** 〒530 大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階 (財)関西情報センター内
情報処理学会関西支部 Tel.(06)346-2543

数値解析研究会

[研究会]

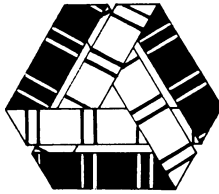
- 日時** 平成5年12月10日(金) 14:00~17:00
- 会場** (財)関西情報センター 会議室(大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階
Tel.(06)346-2543)
- プログラム** (1)ウェーブレットを用いた時系列解析の例—株式売買シミュレーションなど—
守本 晃(大阪教育大)
- (2)ファジィ概念を用いたスプライン関数の節点の決定—知識処理支援数値計算の試み—
(仮題) 吉本富士市(和歌山大)
- (3)柔軟マニピュレーターの逆動力学 土屋和雄, 渡辺誠治(阪大)
- 懇談会** 上記研究会終了後, 会場付近のレストランで開催します。会費5,000円(学生3,000円)

[若手研究会]

- 日時** 平成5年12月11日(土)
- 会場** 大阪工業大学 記念館(大阪市旭区中宮5-16-29 Tel.(06)955-1551)
- プログラム** 大学院生, 若手研究者を中心とした研究会を開催します。詳しくは後日ご案内します。
- [参加要領]**
- 参加費** どちらの研究会も無料
- 宿泊** 12月10日(金)の宿泊をご希望の方は大阪工業大学の宿泊施設を利用できます(有料)。
- 申込方法** 研究会・若手研究会のみに参加される方は, 事前の申込は不要です。懇談会への参加および宿泊を希望される方は, ①申込の区別(a:懇談会のみ b:懇談会及び宿泊), ②氏名, ③所属, ④連絡先(所属先住所, 電話番号, FAX番号)をご記入の上, FAXまたは郵送にて11月末日までに下記までお申込下さい。

申込・問合せ先 〒535 大阪市旭区大宮5-16-1 大阪工業大学一般教育科 友枝謙二
Tel.(06)952-3131(ext. 3841,3800) Fax.(06)957-2137

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（*：本年既掲載分，**：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 72 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

1.開催日, 2.会場, 3.問合せ先, 4.その他

国際会議

Asia Pacific Year '94 (068)

- 1994年4月20日(水)
- 機械振興会館(東京都港区芝公園)
- (株)日立製作所中央研究所 IEEE 東京支部事務局内
Asia Pacific Year '94事務局
Tel.(0423)27-7642 Fax.(0423)27-7643

第5回 IEEE COMSOC ワークショップ「マルチメディア '94」(*065)

- 1994年5月17日~19日
- 京都パークホテル
- NTT 通信網総合研究所 相原 憲一
Tel.(0422)59-2595 Fax.(0422)59-2672

2nd Int'l, Conf, on Intelligent Systems Engineering (069)

- September 5-8, 1994
- Hamburg, Germany
- Jane Chopping, Conference Organiser, ISE 94 Secretariat, Conference Services, Institution of Electrical Engineers, Savoy Place, London WC2R 0BL
Tel. 071-344 5477 Fax. 071-497 3633
Telex: 261176 IEE LDN G
- Receipt of full papers: February 25, 1994

第2回メカトロニクスに関する国際会議 (070)

- 1994年11月1日~3日
- サンメッセ香川
- 香川大学教育学部情報科学教室 秦 清治
Tel.(0878)36-1771 Fax.(0878)36-1652
e-mail: hata@kagawa-u.ac.jp
- アブストラクト締切: 1994年4月15日

WCCE 95-6th World Conf.on Computers in Education (071)

- July 23-28, 1995
- Birmingham, UK.
- Deryn Watson WCCE 95 Papers Committee, Kings College London, Cornwall House Annexe, Waterloo Road, London SE1 8 TX UK.
Tel.44+(0)71 872 3106 Fax.44+(0)71 872 3182

e-mail: deryn@uk.ac.kcl.cc.oak

4. Papers due: August 31, 1994

国内会議

第28回オフィス・オートメーション学会全国大会

- 平成5年11月26日(金)~28日(日)
- 駒沢大学(東京都世田谷区駒沢)
- オフィス・オートメーション学会
Tel.(03)3814-5295 Fax.(03)3814-3147
- 参加費: 会員 6,000円 非会員 7,000円

第14回全日本マイクロマウス大会

- 平成5年11月27日(土)~28日(日)
- 科学技術館(東京都千代田区北の丸公園)
- (財)ニューテクノロジー振興財団 Tel.(03)3504-1323
- 入場料: 515円

第52回産業用ロボット利用技術講習会

2. 東京: 1993年12月2日(木)~3日(金)
電機工業会館(千代田区)
大阪: 1993年12月9日(木)~10日(金)
大阪社会福祉指導センター
- (社)日本産業用ロボット工業会
Tel.(03)3434-2919 Fax.(03)3578-1404
- 参加料: 正・賛助会員 20,000円, 協賛会員 23,000円,
協賛団体会員 25,000円, 一般 26,000円

人工生命科学特選講座・人工生命と自律ロボット

- 平成5年12月6日(月)
- 千里ライフサイエンスセンター(大阪府豊中市)
- (財)千里国際情報事業財団
Tel.(06)373-5319 Fax.(06)313-0357
e-mail: ikeda@senri-i.or.jp
- 参加料: 一般 20,000円 協賛学会員 18,000円
大学関係者 10,000円

「交通・物流におけるGPS利用」講習会

- 平成5年12月6日(月)
- 川崎市産業振興会館(川崎市幸区堀川町)
- (社)日本機械学会 交通・物流部門
Tel.(03)3379-6781 Fax.(03)3379-0934
- 聴講料: 会員 15,000円(学生会員 3,000円), 会員外 20,000円(一般学生 5,000円)

第2回交通・物流部門大会

- 平成5年12月6日(月)~9日(木)
- 川崎市産業振興会館(川崎市幸区堀川町)
- (社)日本機械学会 交通・物流部門
Tel.(03)3379-6781 Fax.(03)3379-0934
- 参加費: 正員・准員 10,000円 学生会員 2,000円
会員外 15,000円 一般学生 4,000円

先端技術フォーラム「21世紀の情報社会を拓くコンピュータ・テクノロジー」

- 平成5年12月10日(金)
- 三田出版会(東京都文京区本郷)
- (社)精密工学会
Tel.(03)3362-1979 Fax.(03)3367-0994
- 参加費: 会員 20,000円 非会員 30,000円
学生会員無料

日本認知科学会 1993 年度冬のシンポジウム

1. 1993 年 12 月 11 日 (土)
2. 明治大学和泉校舎
3. 東京工業大学大学院総合理工学研究科内
日本認知科学会事務局
Tel.(045)922-1111(ext.2646) Fax.(045)921-1485
4. 参加費：会員・非会員学生 1,000 円 非会員 2,000 円

第 23 回人工知能セミナー「デザインと知能化技術」

1. 1994 年 1 月 26 日 (水)
2. 日本ユニシス(株)中部支社 (名古屋市中区栄)
3. (社)人工知能学会
Tel.(03)5261-3401 Fax.(03)5261-3402
4. 参加費：会員 18,000 円 非会員 30,000 円
学生 6,000 円

人間と共存するロボットに関するシンポジウム

1. 平成 6 年 4 月 22 日 (金)
2. 東京ガス(株)本社ビル (港区海岸)
3. 主催：(社)精密工学会
問合せ先：東京ガス(株)インフォメーションテクノロジー研究所内 SRP シンポジウム事務局

Tel.(043)296-5888 Fax.(043)298-1913

4. 参加費：協賛団体会員 8,000 円 非会員 10,000 円

'94 新素材展

1. 1994 年 5 月 17 日 (火)~20 日 (金)
2. 幕張メッセ (千葉市美浜区中瀬)
3. 日本経済新聞社 事業局総合事業部
Tel.(03)3243-9082 Fax.(03)3243-9086
4. 入場料：1,000 円

第 13 回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス

1. 平成 6 年 6 月 22 日 (水)~23 日 (木)
2. 成蹊大学 (東京都武蔵野市)
3. 日本シミュレーション学会
Tel.(03)5379-1236 Fax.(03)3225-1813

平成 6 年電気学会産業応用部門全国大会

1. 平成 6 年 8 月 24 日 (水)~26 日 (金)
2. 愛媛大学城北キャンパス (愛媛県松山市)
3. 愛媛大学工学部電気電子工学科 渡辺 健二
Tel.(0889)24-7111(ext.3655) Fax.(0899)23-0672
4. 論文締切：平成 6 年 5 月 31 日

教官募集



愛媛大学教養部情報科学研究室

- 募集人員 助教授、または講師 1 名
 専門分野 情報科学または関連分野
 応募資格 大学院修士課程修了またはこれと同等以上の研究業績のある方
 着任時期 平成 6 年 4 月
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、論文別刷、研究概要と研究計画、本人に関する所見を求め得る方の氏名・連絡先 (2 名)、推薦状
 応募締切 平成 5 年 12 月 10 日
 送付先 〒 790 松山市文京町 3
 問合せ先 愛媛大学教養部情報科学研究室 森作常生
 Tel.(0899)24-7111 (ext. 3921, 3920)

長野大学産業社会学部

- 募集人員 教授、助教授または講師 1 名
 担当科目 情報科学概論、プログラミング、情報処理演習および演習 (ゼミナール)
 応募資格 大学院修士課程修了者またはこれと同等以上の研究実績を有する方で、原則として上田市またはその周辺に居住すること
 着任時期 平成 6 年 4 月 1 日

- 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要著書・論文コピー、最終学歴の卒業または修了証明書、健康診断書
 応募締切 平成 5 年 12 月 15 日
 送付先 〒 386-12 上田市下之郷 長野大学産業社会学部 長宛 「応募担当科目」を朱書き書留
 問合せ先 教務課長 新保栄一 Tel.(0268)38-2350
神戸山手女子短期大学生活学科
 募集人員 助教授または講師 1 名
 担当科目 情報処理入門、情報処理演習、情報活用論、生活学入門演習、生活学演習、自然系科目一つ (たとえば「星と生活」)
 応募資格 大学院修士課程修了者または、それ以上の教育研究歴を有する方
 着任時期 平成 6 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷 (博士、修士論文を含む、コピー可)、研究業績概要 (1000 字)、推薦書
 応募締切 平成 5 年 12 月 15 日
 送付先 〒 650 神戸市中央区諏訪山町 3-1
 問合せ先 神戸山手女子短期大学生活学科主任 押野礼子
 「教員応募書類在中」と朱書き書留
 Tel.(078)351-7181
 Fax.(078)371-4972

東京都立科学技術大学

- 募集人員 教授または助教授 1 名
 専門分野 社会科学
 応募資格 経済学・経営学などの分野を専攻し、産業システム論、産業情報論、経営情報管理論などの大学院の講義も可能な方。社会経済システム、計画科学などの分野における情報化の推進・展開について指導が可能で、産業界に通じ、地域産業論、振興論に明るい方が望ましい。
 着任時期 平成 6 年 4 月 1 日

提出書類 履歴書, 教育研究業績一覧, 職務調書 (以上は書式あり, ご請求ください), 主要著書論文別刷
 応募締切 平成5年12月15日
 送付先 〒191 日野市旭が丘6-6
 東京都立科学技術大学
 問合せ先 一般教育 ワダ・ジェームス, または庶務課 社会科学教育応募担当係 「社会科学専任教員応募書類在中」と朱書き書留
 Tel.(0425)83-5111

福岡工業大学工学部情報工学科

募集人員 助教授または講師1名
 担当科目 情報処理に関連した科目
 専門分野 情報関連分野
 応募資格 博士号取得者で, 教育経験のある方が望ましく, 40歳以下の方。大学院(計画中)での研究指導も可能な方

着任時期 平成6年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(著・訳書, 論文, 総説等に分類し, 著者名をすべて記述し, また査読つき論文とその他の論文を区別すること), 主要論文別刷(5編程度), これまでの研究概要および採用された場合の研究・教育に対する抱負(各1000字以内), 推薦書または本人に関する所見を求め得る方の氏名・連絡先

応募締切 平成5年12月20日
 送付先 〒811-02 福岡市東区和白東3-30-1
 福岡工業大学教務課長 松尾義勝
 Tel.(092)606-3131 (ext.2242)
 Fax.(092)606-8923

問合せ先 情報工学科教室主任 岩重二郎 (ext.2465)

愛知教育大学総合科学課程

募集人員 助教授, 講師, または助手1名
 所属 情報科学コース
 担当科目 情報基礎, 言語情報処理, 計算機システムのいずれか

専門分野 情報工学または計算機科学
 応募資格 昭和30年4月2日から昭和44年4月1日までに生まれた, 大学院修士課程修了以上か, 大学学部卒業者で2年以上研究または教育に従事し, 修士課程修了と同等以上の能力があると認められる方
 着任時期 平成6年4月1日以降

提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 論文別刷(コピー可), 健康診断書

応募締切 平成5年12月25日
 送付先 〒448 刈谷市井ヶ谷町広沢1
 愛知教育大学人事課人事係
 Tel.(0566)36-3111 (ext.226)

問合せ先 情報科学コース教室主任 平田賢一 (ext.822)

福岡工業短期大学

募集人員 教授, または助教授1名

担当科目 情報処理に関連した分野
 応募資格 担当科目に関する分野で博士号を取得している方か, その分野で論文を学会誌に(本誌, 電子情報通信学会誌等)に発表している方, または企業または, 社会において担当科目に関する分野で実際の技術に秀で, 教育の経歴を有する方。
 年齢は原則として35歳以上, 教授の場合は40歳以上の方

着任時期 平成6年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(書式をご請求ください), 主要論文別刷

応募締切 平成5年12月31日以降, 毎月末ごとに応募者の中から選考し, 充足した場合は締切る。

送付先 〒811-02 福岡市東区和白東3-30-1
 福岡工業短期大学事務長 山上 明
 Tel.(092)606-3131 (ext.2703)
 Fax.(092)608-4527

問合せ先 教務部長 立松健三 Tel.(092)606-3131 (ext.2707)

九州工業大学情報工学部知能情報工学教室

募集人員 助教授1名
 専門分野 数理情報
 計算モデル理論, 論理と推論, 知能ソフトウェア基礎等の研究分野, ならびに関連する実際のシステムの構築関係

応募資格 博士号取得者
 着任時期 平成6年4月1日(予定)
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷, 教育・研究に対する抱負(800字程度)

応募締切 平成6年1月10日
 送付先 〒820 飯塚市川津680-4
 九州工業大学情報工学部知能情報工学教室主任 野村浩郷 Tel.(0948)29-7613
 Fax.(0948)29-7601
 e-mail: nomura@ai.kyutech.ac.jp

稚内北星学園短期大学経営情報学科

募集人員 教授, 助教授または講師1名
 専門分野 UNIX ワークステーション上での情報教育

着任時期 平成6年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 論文別刷, 研究概要, 情報教育に関する抱負(1500字程度)

応募締切 平成6年1月20日
 送付先 〒097 稚内市若葉台 稚内北星学園短期大学
 学長 木村謙二 「情報教員応募書類在中」と朱書き書留

問合せ先 経営情報学科長 丸山不二夫
 Tel.(0162)32-7511 Fax.(0162)32-7500

その他 現在, 情報系の4年制大学への移行を計画しています。

雑 報



○第 11 回 (平成 5 年度後期) 国際コミュニケーション基金の助成・援助募集

- 対 象 国際通信の普及・発展と国際間のコミュニケーションの促進を図り、世界の調和ある健全な発展に寄与することを目的とし、次の事業に対し、助成・援助を行います。
- I. 調査研究助成

助 成
援助金額

- II. 国際会議開催助成
- III. 国際会議参加助成
- IV. 社会的・文化的諸活動助成
平成 6 年 4 月から平成 7 年 9 月末までに開催、実施および参加のものを対象とします。ただし、I については助成・援助が決定された次第、速やかに着手できるものとし、その期間は 1 年～3 年とします。

申込期間
問合せ先

- I. 1 件あたり 100～1,000 万円程度。
- II. 1 件あたり最高 300 万円まで。
- III. 海外で開催される国際会議への日本からの参加者または日本で開催される国際会議への海外からの参加者とし、1 名あたり最高 50 万円まで。
- IV. 1 件あたり最高 200 万円まで。
平成 5 年 11 月 1 日 (月)～11 月 30 日 (火)
〒 163-03 新宿区西新宿 2-3-2 KDD ビル 31 F
(財) 国際コミュニケーション基金
Tel.(03)3347-7094

編 集 室



会員の声

(9 月号特集「並列処理のためのシステムソフトウェア」について)

●「並列処理のためのシステムソフトウェアが今後どのような方向に向かうのか、ハードウェアに対しどのようなのか、などの記載が特集の中にあつたならばよかった」

(山城健司 (株)SCC)

●「情報処理最前線は、毎号目先の変わった、広くアピールする記事が載っており、面白く読める」

(西野哲朗 北陸先端大)

事務局だより

秋晴れの季節を迎えましたが、経済不況も出口の見えない状況が続き、北海道、東北を中心とした冷夏も加わって、なんとなく重苦しい情勢です。

学会活動もこのような社会の状況を受け、会員増加活動を行

っても会員数は横這い、大会他の行事参加者も減少、広告収入も激減、一方、活動経費の節減は時間がかかるなど、運営が難しくなっておりますが、理事会を中心に来年度目指して経営改善計画を検討しております。この内容については、各役員の巻頭言でもふれられており、会員の皆さまのご提案、ご協力を期待しております。

学会最大行事の第 47 回全国大会は鳥取大学(教養部・工学部)において、10 月 6 日から 8 日に開催されました。6 日は午前一般講演、午後は会場を鳥取県立社会教育センター(県民ふれあい会館)に移し、大阪大学教授中川八郎氏の「脳が食べる」、RWC 研究所岡嶺一氏の「リアルワールドコンピューティングの夢」の 2 つの招待講演があり大変好評でありました。その後、懇親会が 130 名の参加者を得て、林学長、鳥取市助役さんらの含蓄のある挨拶の後、盛大に和やかに催され懇親を深めました。7 日には一般講演とパネル討論「ダウンサイジングの実像」、8 日は一般講演と無事大会が終了いたしました。これは、小林中国支部長、鳥取大学の井上、魚崎、増山、水本各先生を始めとする現地の方々、会長、大会運営委員、座長ならびに、会員の方々のご協力の賜物であり、厚くお礼を申し上げる次第です。ただし、発表件数は 1006 件あり内容も充実していたと存じますが、総参加者が 1534 名と少なかったことは、最近の経済情勢を反映して、発表者以外の参加者が少なかったためと考えられ、学会活動も社会の状況に大きな影響を受けることを感じさせられた次第です。

(1993.10.18 飯塚 浩司)

会員の方へお願い

○ 学会誌等の送本先変更

勤務先、自宅住所に変更のある方は、必ず所定の「変更連絡届」用紙にて（偶数月号に添付）早急にご連絡ください。変更の受付は毎月20日に締切り、翌月号から変更いたします。21日以降受付分の変更は翌々月号からとなりますのでご了承ください。

○ 退会

書面（様式任意、はがき可）にてお申し出ください。

なお、今年度会費が未納の場合には、送本した学会誌を会費月割りで精算のうえ請求させていただきます。退会のお申し出がありませんと、会費未納のため本学会から除名することがありますので、ご承知ください。

○ 論文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」（月刊）は有料頒布となっておりますが、会員価格にてご購読いただけます。

まだ購読されていない方は、この機会にぜひご購読くださいますようお願いいたします。

論文誌年間購読費 4,500円（会員価格）

※変更、新規購読等のご連絡は必ず会員番号を明記の上、事務局会員係までお願いいたします。

○ 会費の預金口座自動振替納入について

正会員（一括扱いの会員は除く）の方は、会費および購読費を毎年3月27日（休日の場合は翌営業日）にご指定の銀行口座から自動振替により納入することができます（研究会登録費は取扱いません）。

希望される方は所定の預金口座振替依頼書にてお申込みいただきますので、事務局会員係までご連絡ください。

○ 入会のおすすめ

情報処理学会では、情報処理関連の学術研究あるいは事業に携わっている方、関心をお持ちの方の入会をお待ちしております。お近くにまだご入会いただいていない方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

入会申込書は学会誌奇数月号に添付しておりますのでご利用ください。

※入会の手続き

所定の入会申込書に必要事項をご記入の上、下記の通り入会金および年間会費を添えてお申込みください（新入会時の入会金等の自動振替納入はできません）。

会員種別	資格	入会金	年間会費	学会誌	*論文誌	研究会登録	
個人会員	正会員	専門の学識または相当の経験を有する者	2,000円	9,600円	無料 送付	有料 4,500円	各研究会ごとに 3,000円～ 5,500円
	学生会員	大学学部および大学院修士課程まで（研究生は除く）	—	4,800円	無料 送付	有料 4,500円	〃
賛助会員	本学会の目的事業を賛助する団体	—	** 1口につき 50,000円	無料 送付	有料 4,500円	〃	
購読員	○大学、教育機関、官公立の研究機関、図書館あるいはこれに準ずる団体 ○賛助会員である企業の事業所あるいは研究所	—	** 1口につき 19,800円	無料 送付	無料 送付		

* 非会員の場合は、論文誌7,800円（学会誌は1冊1,600円～2,000円）

** 何口でも可